

夏のボランティア体験学習プログラム活動報告

ナツボラ 2026 の記録



主催： 社会福祉法人 世田谷ボランティア協会

後援： 世田谷区、世田谷区教育委員会

夏のボランティア体験学習プログラム活動報告

ナツボラ 2026 の記録

目次

1. ナツボラ 2026 実施概要 p. 1
2. 受入団体及び活動人数一覧 p. 2
3. 参加者の内訳 p. 3
4. 参加者アンケートから p. 7
5. 参加者の振り返り p. 8
6. 受入団体への事後アンケートから p. 37
7. ナツボラ・ジュニア実施概要 p. 48

ナツボラ 2026 チラシ

表

裏



夏のボランティア体験
ナツボラ 2026

体験期間
7/22(水) ~ 8/31(月)

対象：世田谷区内在住・在学・在勤の中学生 ~ 30歳くらいまでの方
定員：200名 参加費：500円（別途ボランティア保険代 350円）
オリエンテーションと申込受付：7月12日(日) 10:00~16:30（6時制、最終受付15:00~）詳細は裏面参照
予備日：7月22日(水)、23日(木)、24日(金) いずれも 10:30~12:00
※オリエンテーション参加と申込受付には、事前予約が必要です。7月3日(金)17:00より予約を開始します！
受付会場：世田谷ボランティアセンター（世田谷区下馬2-20-14）
アクセス：東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅 南口から徒歩12分

申込受付の
予約はコチラ！
7月3日（金）
17時スタート！

お問い合わせ 社会福祉法人 世田谷ボランティア協会 後援：世田谷区・世田谷区教育委員会
Tel:03-5712-5101 / Fax:03-3410-3811 E-mail:natsu-bora_2026@otagaisama.or.jp



ナツボラ とは？
区内の福祉施設やNPO団体、ボランティアグループ等で、ボランティア体験ができるプログラムです。
さまざまな人と出会い、新たな自分の発見、ドキドキワクワク、心が動く体験しよう！

参加するには？

STEP 1 オリエンテーションに参加 ※ホームページで要事前予約
ボランティア体験するときの注意事項や心構えなどを説明します。（45分程度）
オリエンテーション日時 7月12日(日) 10:00、11:00、12:00、13:00、14:00、15:00
予備日：7月22日(水)、23日(木)、24日(金) いずれも10:30

会場 世田谷ボランティアセンター
※時間までに会場へお越しください。遅刻は、オリエンテーションに参加できない場合があります。

持ち物 ※参加申込書と参加同意書はホームページからダウンロード可。当日会場でも配布します。

- 参加申込書
- 参加同意書（中学生のみ）
- 自分の置け方のスケジュール（部活や塾の予定など）
- 確認できるもの
- 筆記用具
- 参加費 500円
- 保険代 350円

注意事項
・オリエンテーション参加は必須です。必ず本人が参加してください。
・申し込みは随時受付です。
・後日キャンセルによる返金はいたしません。予めご了承ください。
・中学生は、保護者の「同意書」の提出が必要です。（後日届出可）
・申込受付時やボランティアセンター内、活動中、活動後の安全を確保することがあります。顔出しがNGの方は配慮しますので、事前にお申し出ください。

STEP 2 活動先を決める（申込受付）
活動先リスト（事前にホームページから確認可能）で活動日時とガイダンス日程を確認し、自分がきんと参加できるものを選びましょう。

申込受付
各オリエンテーション後に受け付けます。
会場：世田谷ボランティアセンター
※申込は先着順です。
※本選考まで、同じ期間に一緒に申し込みできない活動先があります。

STEP 3 活動先でのガイダンスに参加
施設や団体の紹介や活動内容について説明します。
ガイダンス日時
活動先の指定する日時、または活動初日に実施
※活動先によって異なります。
会場：活動先

STEP 4 ボランティア体験！
体験は3日程度のプログラムです。（最短1日）
体験期間 7月22日(水) ~ 8月31日(月)

STEP 5 活動をふりかえる
レポートを書いて、成長したこと、発見したことをふりかえります。
FINISH!

1. ナツボラ 2026 実施概要

夏のボランティア体験「ナツボラ」は、若者の初めてのボランティアを応援するプログラムです。1985 年から始まり、例年、多くの団体・施設のみなさまにご協力いただき実施してまいりました。

今年度も多くのみなさまのご協力により、実施させていただき、このたびの記録をまとめました。参加者アンケート、受入団体への事後アンケート、受入団体の方と直接やりとりさせていただいたことなどを通じて得た教訓を、今後活かしてまいりたいと考えています。

体験活動期間	2026 年 7 月 22 日（水）～8 月 31 日（月）
対象	世田谷区内在住・在学・在勤で、ボランティア体験をしたい中学生、高校生、大学生からおおむね 30 歳くらいまでの方
参加費	500 円（別途ボランティア保険代として 3 5 0 円）
申込受付	7 月 12 日（日）10:00～16:30(6 枠制 45 分、事前予約制) 追加申込：7 月 22 日（水）、23 日（木）、24 日（金） 10:30～12:00(事前予約制)
参加前 オリエンテーション	申込受付後当日各 45 分程度(ボランティア活動 4 つのポイント、パスポートの活用、活動先でのマナーや注意事項、電話のかけ方)
受入団体事前説明会	6 月 9 日（火）14:00～15:00、18:30～19:30 オンライン開催

◆ 参加実績

【プログラム参加人数】

参加者総数	2 3 7 名
参加延べ人数	2 9 7 名
受入団体数	8 7 件

2. 受入団体及び活動人数一覧

			(50音順、敬称略)		
分野	受入団体名	活動人数	分野	受入団体名	活動人数
高齢者とともに楽しく過ごす	上北沢ホーム	3	保育園の子どもたちに楽しいひとときを	赤堤保育園	20
	砧デイサービスセンター	3		池尻かもめ保育園	0
	久我山園	9		大蔵保育園	4
	グループホーム花みず木	5		尾山台みどり保育園	8
	たつなみ会通所介護事業所	3		上馬保育園	5
	デイホーム赤堤	1		上祖師谷保育園	4
	デイホーム桜丘	0		烏山保育園	1
	デイ・ホーム千歳	2		烏山杉の子保育園	2
	デイ・ホーム中町	5		烏山杉の子保育園分園みなみ風	2
	博水の郷	2		烏山翼保育園	10
	ふきのとうデイホーム	1		砧保育園	3
	小計	34		希望丘保育園	3
障害のある人と一緒に楽しむ	泉の家	1		豪徳寺保育園	1
	梅丘ウッドベッカーの森	1		小梅保育園	0
	NPO法人JOY	1		駒沢保育園	5
	岡本福祉作業ホーム	1		さくらしんまち保育園	20
	岡本福祉作業ホーム玉堤分場	1		さくらのその保育園	1
	奥沢福祉園	1		早苗保育園	3
	烏山福祉作業所	0		下馬鳩ぼっぼ保育園	4
	砧工房	0		下馬鳩ぼっぼ保育園分園野の花園	6
	九品仏生活実習所	1		世田谷保育園	2
	駒沢生活実習所	0		祖師谷保育園	1
	桜上水福祉園	1		祖師谷保育園分園	0
	下馬福祉工房	2		玉川保育園	10
	スペースえるぶ	2		等々力中央保育園	0
	ずまいる梅丘	2		中町保育園	0
	世田谷福祉作業所	1		西弦巻保育園	0
	玉川福祉作業所	0		西之谷保育園	1
	玉堤つどいの家	5		鳩ぼっぼ保育園	22
	東北沢つどいの家	2		びっころ保育園	5
	ほほえみ経堂	1		船橋東保育園	3
	三宿つくしんぼホーム	1		フロンティアキッズ上町	1
	小計	24		守山保育園	4
子どもたちに楽しいひとときを	Ohana kids	2		南大蔵保育園	0
	烏山プレーパーク	3		南桜丘保育園	18
	砧・多摩川あそび村	2		遊愛保育園	5
	駒沢はらっぱプレーパーク	8		用賀保育園	7
	世田谷プレーパーク	7		用賀なのはな保育園	0
	世田谷ボランティア協会	0		用賀なのはな保育園深沢分園	0
	デイサービスにじのご赤堤	1		芦花そらいろ保育園	0
	デイサービスにじのご給田	0		わかさ保育園	4
	凸凹Kidsすべいす♪	0		小計	185
その他	羽根木プレーパーク	2	その他	JCA千歳船橋	16
	プレイ&リズム希望丘	3		しづやボランティアセンター	5
	放課後デイサービス「あじさい」	1		世田谷ボランティアセンター 「てあみときつての会」	4
	小計	29		小計	25
			合 計 297名		

3. 参加者の内訳

今年は受入団体数は昨年を下回りましたが、参加者数が昨年より大幅に増えました。参加者のうち中学生が7割近くを占めました。また、高校生の参加割合は昨年と同程度で、大学生以上の参加が増加しました。

高齢者にかかわる活動と保育園での活動は、昨年より大幅に参加者が増加しました。渋谷区との協働で開催した活動も多くの参加がありました。

(1) 参加者の属性別

年代	合計
中学生	182 名
高校生	48 名
大学生・専門学校生	7 名
その他	0 名
合計	237 名

(2) 分野別の活動先数と参加延べ件数

活動内容	受入団体数	参加人数	申込のなかった団体数
高齢者とともに楽しく過ごす	11 団体	34 名	1 団体
障害のある人と一緒に楽しむ	20 団体	24 名	4 団体
子ども(保育園)	41 団体	185 名	10 団体
子ども(保育園以外)	12 団体	29 名	3 団体
国際・環境・その他	3 団体	25 名	0 団体
合計	87 団体	297 名	18 団体

(3) 参加者1名あたりの活動場所数

活動場所数	人数
1 か所	201 名
2 か所	30 名
3 か所	6 名

(4) 参加者 1 名あたりの活動日数

1 日 活動した人数は 103 名でした。

2 日 活動した人数は 71 名で、そのうち 2 か所で活動した人数は 15 名でした。

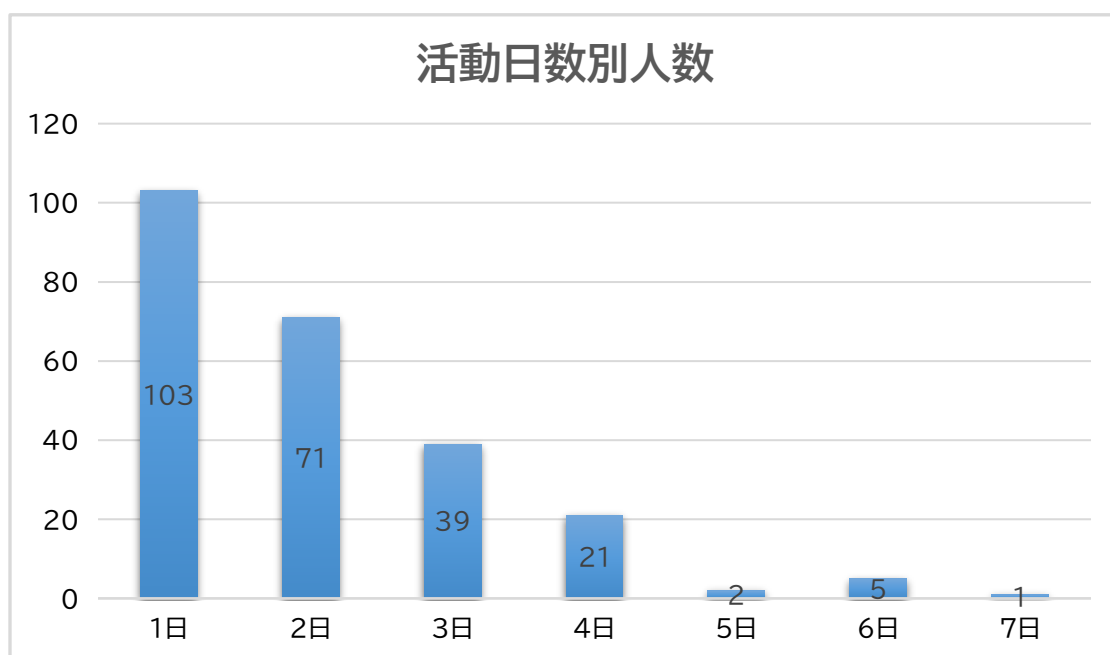
3 日 活動した人数は 39 名で、そのうち 2 か所で活動した人数は 9 名でした。

4 日 活動した人数は 21 名で、そのうち 2 か所で活動した人数は 5 名でした。

5 日 活動した人数は 2 名で、2 か所、3 か所で 1 名ずつが活動しました。

6 日 活動した人数は 5 名で、4 名が 2 か所、1 名が 3 か所で活動しました。

7 日 活動した人数は 1 名で、3 か所で活動しました。



(5) 学校・学年別参加者数 (参加者数の多い順で記載、参加者数同数の学校は 50 音順)

中学生 182名

★1年生: 41名

★2年生: 71名

★3年生: 70名

【私立】鷗友学園女子中学高等学校 39 名、世田谷学園中学校 32 名、田園調布双葉中学校 26 名、女子学院中学校 18 名、渋谷教育学園渋谷中学高等学校 6 名、洗足学園中学校 6 名、早稲田中学校 6 名、頌栄女子学院中学校 5 名、吉祥女子中学・高等学校 4 名、横浜双葉中学校 3 名、聖心女子学院中等科 2 名、三田国際科学学園中学校 2 名、三輪田学園中学校 2 名、駒場東邦中学校 1 名、サレジアン国際学園世田谷中学校 1 名、清泉インターナショナルスクール 1 名、玉川学園中学部 1 名、東京家政大学附属女子中学校 1 名、東京都市大学等々力中学校・高等学校 1 名、東京農業大学第一高等学校中等部 1 名、日本工業大学駒場中学校 1 名、双葉中学校 1 名、文教大附属中学校 1 名、明星 Institution 中等教育部 1 名、和光中学校 1 名

【国立】東京学芸大学附属世田谷中学校 2 名、筑波大学附属駒場中学校 1 名

【公立】駒沢中学校 5 名、駒留中学校 3 名、桜丘中学校 3 名、烏山中学校 1 名、千歳中学校 1 名、弦巻中学校 1 名、東深沢中学校 1 名、船橋希望中学校 1 名

高校生 48名

★1年生: 18名

★2年生: 23名

★3年生: 7名

【私立】桐朋高等学校 8 名、科学技術学園高等学校 2 名、暁星高校 2 名、佼成学園女子高等学校 2 名、渋谷教育学園渋谷高等学校 2 名、昭和女子大学附属昭和高等学校 2 名、大妻多摩高等学校 1 名、大妻中学高等学校 1 名、河合塾マナビス 1 名、神田女学園高等学校 1 名、国土館高等学校 1 名、実践女子学園高等学校 1 名、下北沢成徳高等学校 1 名、白百合学園高等学校 1 名、杉並学院高等学校 1 名、清泉インターナショナルスクール 1 名、玉川聖学院高等部 1 名、中央大学杉並高等学校 1 名、東京都市大学等々力高校 1 名、東京農業大学第一高等学校中等部 1 名、トキワ松学園高等学校 1 名、豊島岡女子学園高等学校 1 名、普連土学園高等学校 1 名、日本航空高等学校 1 名、広尾学園高等学校 1 名、法政高等学校 1 名、三田国際科学学園高等学校 1 名、立教女学院高等学校 1 名

【公立】西高等学校 2 名、荻窪高等学校 1 名、国際高等学校 1 名、桜丘高等学校 1 名、新宿山吹高等学校 1 名、世田谷総合高等学校 1 名、松原高等学校全日制 1 名

大学生 7 名

★1 年生： 3 名

★2 年生： 1 名

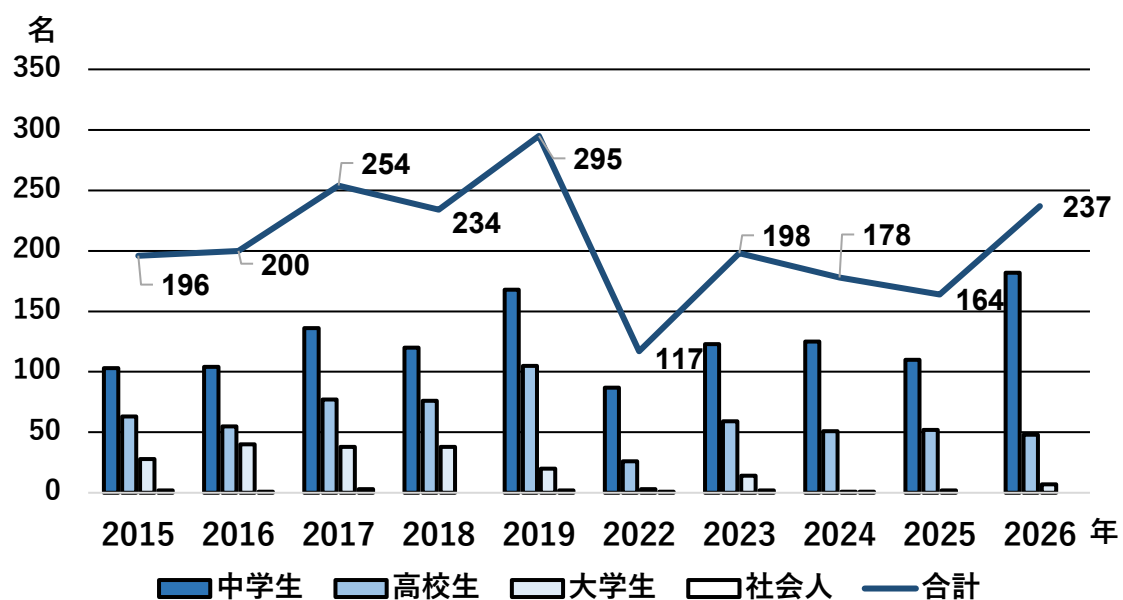
★3 年生： 2 名

★4 年生（5 年生）： 1 名

【私立】駒澤大学 2 名、昭和薬科大学 1 名、成城大学 1 名、帝京平成大学 1 名、日本女子大学 1 名、日本大学 1 名

（6）これまでの参加者推移（2014 年～2026 年）

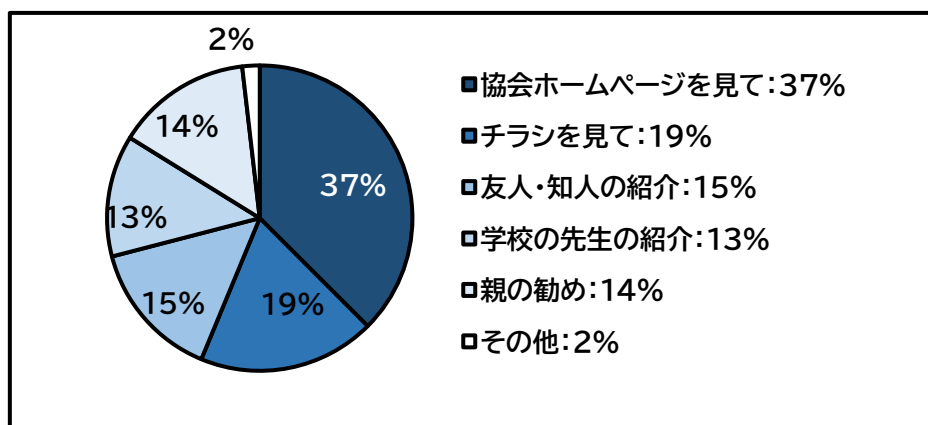
※2020、2021 年度は中止。2022 年度は規模縮小で実施。



4. 参加者アンケートから

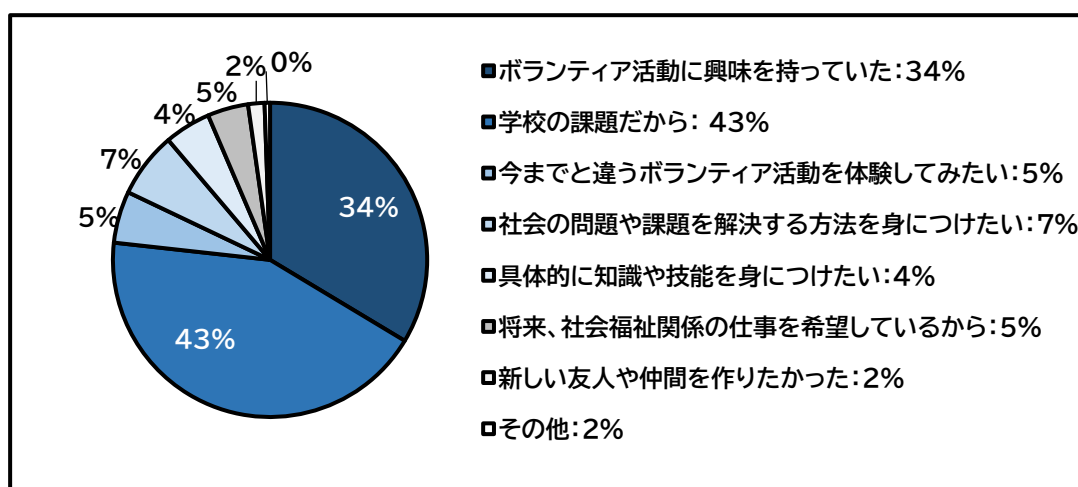
(1) 「ナツボラ」を何で知りましたか？（複数回答可）

ナツボラを知った経緯として、最も多かったのは「協会ホームページを見て」(37%)でした。次いで「チラシを見て」(19%)、「友人・知人の紹介」(15%)、「学校の先生の紹介」(13%)、「親の勧め」(14%)、「その他」(2%)という結果でした。「その他」(2%)には、「世田谷区のホームページから」、「姉が過去に参加したことがあるため」等ありました。



(2) 参加の動機を教えてください。（複数回答可）

参加した動機として最も多かったのは、「ボランティアに興味を持っていた」(34%)、次いで「学校の課題だから」(43%)、「今までと違うボランティア活動を体験してみたい」(5%)、「社会の問題や課題を解決する方法を身につけたい」(7%)、「具体的に知識や技能を身につけたい」(4%)、「将来、社会福祉関係の仕事を希望しているから」(5%)、「新しい友人や仲間を作りたい」(2%)、「その他」(2%)という結果でした。「その他」(2%)には、「活動分野に関心がある」、「友達に誘われたから」、「家庭外の交流や体験をしてみたい」等ありました。



5. 参加者の振り返り

体験レポートより(※基本的に原文を記載)

体験レポート提出者：107名

★振り返りの項目

- ①積極的、自発的に取り組むことができましたか（選択式）
- ②またやりたい、もっと活動してみたいと思いましたか（選択式）
- ③活動を通してうれしかったこと、楽しかったこと
- ④活動中に、困ったこと、不安に感じたこと
- ⑤ナツボラに参加する前と後で、自分のなかで変わったこと
- ⑥ナツボラの体験を通して、自分の周りの人たちに伝えたいこと
- ⑦活動先のみなさんへのメッセージ

①積極的、自発的に取り組むことができましたか。

よくできた	70	まあまあできた	35
あまりできなかった	2	できなかった	0

②またやりたい、もっと活動してみたいと思いましたか。

ぜひまたやりたい	47	機会があればやりたい	55
あまりやりたくない	0	わからない	5

③活動を通してうれしかったこと、楽しかったこと

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・ レクリエーションで老人の方と交流できたこと。
- ・ 人生の先輩と一時を共にできたこと。
- ・ おやつを配った際施設の利用者さんに感謝されたこと。
- ・ 初めはなかなかコミュニケーションを取るのが難しく、初めて行った施設の方々とうまく馴染むことができなかったが、最後には「もっと話したい」「これからも頑張るね！」などの言葉をかけて頂き、やり甲斐感じ嬉しい気持ちになりました。このように、自分が普段接しない年齢層の方々と、コミュニケーションを取ることが出来るようになり、色んなお話しも聞く事が出来、楽しい時間を過ごす事が出来た。
- ・ 施設の利用者さんが優しく接してくれたこと。
- ・ ご入居者の方たちが喜んでくれたこと。
- ・ 入居者のみなさんがほめてくださったり、ありがとうございますと言ってくださったことが嬉しく、モチベーションにつながりました。
- ・ はじめは緊張したが、利用者の方々が積極的に話しかけてくださり、自分としてもフランクに話し、交流できたこと。
- ・ ありがとうございますと言われたこと。

- ・ 今回の活動でうれしかったことは、年上の人にほめられたことです。

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ 施設の利用者さんと楽しくたくさん話しながらも、仕事をすすめていったこと。
- ・ 利用者さんと塗り絵をして素敵な作品がたくさんできたことです。
- ・ 自分からはうまく行けてなかった時もありましたが、利用者さんがたくさん話しかけてくださり、いろいろなお話を聞いたことが嬉しかったです。全員と喋ることはできませんでしたが名前もしっかり覚えて話せました。ボールの色分けやネジ詰めなどの作業も、一緒に楽しく取り組むことができました。
- ・ 利用者さんと少しずつ話せるようになったことがうれしかったです。最初は緊張していましたが、利用者さんから声をかけてもらえることも増え、笑顔で接して下さったことが印象に残っています。また、職員さんと利用者さんの楽しそうなやりとりを見ることも楽しかったです。
- ・ 最初は緊張していましたが、利用者の方から積極的に話しかけてくれたり、たくさん質問を投げかけてくれたりしたことが本当に嬉しかったです。
- ・ 自分の好きなスポーツの話題で盛り上がった。
- ・ 挨拶したとき笑顔で返してくれた。
- ・ 利用者さんと話している時。
- ・ 利用者が話しかけてくれて、コミュニケーションが取りやすかった。また、最後にスタッフさんや、利用者さんから「また来てね」と言われてうれしかった。
- ・ 利用者の皆さん、職員の皆様に温かく接していただいたこと。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 想像していたよりも子供たちが懐いてくれて「せんせー」と言いながらお話ししに来てくれたことが嬉しかった。寝かしつける時、保育士さんじゃなくて私がトントンしても寝てくれるか不安だったが無事寝てもらえて安心した。
- ・ 最初は子供達は何を言っているのかわからず、戸惑っていたが、だんだんなにを言っているのか理解する事ができて、とても嬉しかった。
- ・ 子供たちに「一緒に遊ぼう」と誘ってもらえて仲良くできたこと。
- ・ いつもだったら触れ合うことのない小さい年齢の子達と触れ合うことができたし、受け入れてもらうことができた。
- ・ 子どもたちが懐いてくれて一緒に遊んだり食事を出来たこと。
- ・ 子どもたちが積極的に話しかけてきてくれたこと。一緒にたくさん遊べたこと。
- ・ 子供達とたくさん接することができた。妹や弟がいない自分にとって、あまりできない経験(遊ぶことはもちろん、寝かしつけなど)ができた。
- ・ 今回のボランティア活動で最も嬉しかったことは、自分で決めたニックネームを園児たちが覚え、親しみを持ってたくさん呼んでくれたことです。

- ・ 「鬼ごっこをしよう」と遊びに誘われたり、髪を結ぶよう頼まれたり、一生懸命に描いた絵を嬉しそうに見せてくれたりと、園児たちと積極的に心を通わせる中で、私自身も多くの元気を貰うことができました。高校生になってからは全力で体を動かして遊ぶ機会が減っていたため、園児の皆さんと一緒に汗をかきながら行った鬼ごっこは非常に新鮮で、とても有意義で楽しい経験となりました。
- ・ 保育園児が懐いてくれたこと。
- ・ 一緒に遊んでくれたこと。
- ・ 様々な性格の子どもたちと関わることができて、とても楽しかった。
- ・ 子ども達と遊んで楽しく過ごせたこと。
- ・ 沢山の子供達が自発的に話しかけてくれた事。
- ・ 全ての活動が目の前の子ども達のためになっていること。
- ・ 普段あまり関わる事のない0歳児の子たちと関わることができたことと、本の読み聞かせですごい喜んでもらえたことです。
- ・ 子供達が話しかけてくれてくれたことや、子供達と遊んだこと。
- ・ 一緒に遊んだ子が仲良くしてくれて、帰る時にとっても残念がってくれたこと
- ・ たくさんおしゃべりしたり、遊んでくれたこと。
- ・ 子供達を安心して寝かせられたこと。
- ・ 子供たちが一緒に遊ぼうと言ってくれたこと。
- ・ 子供と遊べたこと。
- ・ 子供が積極的に関わりに来てくれたこと。
- ・ 子供たちが寄ってきてくれて、一緒に遊ぶと笑ってくれたこと。
- ・ 小さなお子様と触れ合う機会がなく緊張と不安を抱えて挑んだボランティアだったが、園児の皆様の可愛らしい楽しそうな笑顔が見られてとてもうれしかった。また、「遊ぼう」と声をかけていただいたり、つんつんとちょっかいをかけられたのがうれしかった。
- ・ 普段あまり関わりのない 1~5 歳の子とたくさん交流することができ、とても良い経験になりました。特に、一緒に外で遊べたことが楽しかったです。
- ・ お世話していた子どもが、2 回目のとき覚えていてくれたこと。子どもと一緒に遊んでいるときに笑って楽しそうにしていたこと。
- ・ 帰り際に一緒に遊んだ子供達やあまり話してもらえなかった子にも「バイバイ」、「また来てね」と言ってもらえたことです。
- ・ 普段小さい子たちと触れ合う機会があまりないので一緒に遊んだりすることができて嬉しかったです。
- ・ 園児たちがたくさん話しかけてくれたこと。
- ・ 子どもがたくさん来てくれたこと。
- ・ 子どもたちみんなで追いかけっこ、鬼ごっこをしたこと。
- ・ 鶴を折ったことや、子ども用にスマホのおもちゃを作ったことで、子どもたちや先生方に褒めてもらえて、とても嬉しかった。

- ・ 3 から 5 歳の仲良くなった園児の子達が、私の似顔絵を最終日に書いて、プレゼントしてくれたこと。
- ・ 意外と初対面だとしても優しく接してくれたことによりスタッフだけではなく喋りやすい雰囲気になっていた。
- ・ ボランティア活動が終わり、お別れのときに子どもたちに「行かないで〜」「大好き〜」って言われたこと。
- ・ 子どもと意思疎通できたこと。
- ・ 園にいた子ども達が名前を覚えてくれて、何回も「遊んでほしい」と言ってくれたこと。
- ・ 子どもたちと一緒に遊んだり、笑顔で接したりする中で、子どもたちが楽しそうにしてくれたことが嬉しかった。
- ・ 保育園のいろんな子供達と触れ合うことができて嬉しかったですし、楽しかったです。また、先生方もみんな優しく楽しくボランティア活動をすることができました。
- ・ 0 歳児、1 歳児とおもちゃや水遊びで遊んだこと。
- ・ 2 日目に行った時に、1 日目と結構間が空いていたのに覚えててくれたこと。
- ・ 積極的に遊びに誘ってくれたこと。
- ・ 小さい子供が自分になついてくれたこと。
- ・ 「先生、こっちで遊ぼう」といろいろな遊びに誘ってくれたこと。
- ・ 最初は緊張していた子供達が徐々に心を開いてくれて話してくれるようになった事。
- ・ こどもたちとふれあって自分でこどもたちのけんかを解決できたとき。
- ・ 名前を覚えてもらったり、「お姉さんと一緒にお昼ご飯食べたい」と言ってもらったりしてとてもうれしかった。
- ・ 楽しかったことは、本を読み聞かせしたことと、お昼ご飯をみんなで食べたこと。
- ・ 私が、好きな色や、絵本が好きだと言ったので、子どもたちが、折り紙をくれたり読み聞かせをしてくれたりして、優しかったです。
- ・ こどもたちにあったとき、まっさきに「一緒に遊ぼう！」と声をかけてられたこと 1 日目一緒に遊んだ子が 2 日目も見かけたら手を振ってくれたこと
- ・ ボランティアを終え帰る時に、一緒に遊んでいた子が「帰らないで！」と泣き出してしまったこと。
- ・ チェッチェッコリダンスが楽しそうで、アンコールで何回もやったこと。
- ・ 子ども達と仲良くなって、一緒に遊んだこと。
- ・ 時間が経てば経つほど、接しやすく、心を開いてくれているのを実感できて、とても嬉しかった。
- ・ たくさんみんなと遊べたこと、笑顔になってくれたこと。
- ・ 子どもたちが私に「おねえさん、あそぼう」と誘ってくれてお食事をしたことです。私が帰る時に「またあそぼうね」と言ってもらえたことも嬉しかったです。また来て遊びたいです。
- ・ 本の修理やトイレ掃除など、大変な仕事もありましたが、先生方が丁寧に教えてくださったので、楽しくできました。

- ・ 最初は小さい子のほうから話しかけられることがなかったけど、どんどん話しかけて遊びに誘ってくれたこと。
- ・ 仲良くなった子達が、「一緒に遊ぼう」「一緒にご飯食べよう」と言ってくれたこと。
- ・ 普段関わることの少ない幼児たちと仲良くすることができたこと。
- ・ 園児たちが自分に興味を持ってくれたこと。
- ・ 初めてボランティアで行った日に、小さい子たちが一緒に遊ぼう！と声をかけてくれたことが印象に残っていてとても嬉しかったです。
- ・ また、子供と接すること自体久しぶりだったため新しい経験ばかりでしたが、先生方も優しく教えてくださり、楽しくボランティアをすることができました。
- ・ 先生と呼ばれること。
- ・ 小さい子がよってきてくれたり、おもちゃを渡してくれたり、一緒に遊べたことが楽しかった。それと、こっちを向いて笑ってくれるのがたまらなく可愛かった。
- ・ 小さい子たちから元気をもらえた。たくさん話しかけてきてくれて嬉しかった。
- ・ 子供たちが一緒に遊んでくれたこと。
- ・ 児童が自分を覚えてくれて、積極的に関わりに来てくれたこと。
- ・ 子どもが話しかけてくれた
- ・ 小さい子が笑顔で話しかけてくれたとき
- ・ 子どもたちと関われたこと
- ・ 前に行ったことがあるところは「〇〇さん！」と覚えてくれたこと。たくさんあそべたこと。
- ・ みんなが「あそぼー」って言ってくれてとてもうれしかったです。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 小さい子どもとたくさん接することができて、とても楽しかったです。
- ・ 水遊び。
- ・ かくれんぼをしたり、うちわを作ったりしたこと。
- ・ 子ども達と一緒に遊び、互いに笑顔になれたこと。
- ・ 子供達が電車のことや興味あることを熱心に話してくれたこと。
- ・ プレーパークでよく来る子どもたちと仲良くなれたこと。
- ・ ベーゴマをやったことがなかったんだけど、その来てくれる子どもたちが「こうやるといいよ」とかアドバイスくれた。
- ・ 利用している子どもたちに混ざって缶ゴマやベイゴマ、釘刺し、水遊びをしていく過程でプレーパークの仲間に入れて貰えたこと。
- ・ 子供の遊び相手や話し相手になれたこと。
- ・ 活動先の人たちと気軽に話すことができた。
- ・ 職員さんと自分が好きなことで話せたこと。
- ・ なにより川であそんでくれる子がわらっていたことです。

その他

- ・ 外国人と会話し日本語を教えること。
- ・ 海外の文化を知ることができたこと。自分の趣味の知識が会話に役に立ったこと。
- ・ 高齢者の方々と話しながら作業できたこと。
- ・ 外国の文化に触れられたことです。
- ・ 他のボランティアの方とも関わることができ、新しい経験ができたこと。
- ・ ステッカーの剥がし方が上手いと言われたこと。
- ・ 落書きやシールが消えたこと。
- ・ 海外の方とお互いの国について語りあったり、普段何気なく使っている言葉の意味を改めて学ぶことができ楽しかったです。

④活動中に、困ったこと、不安に感じたこと

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・ 会話がうまくできないことがあった。
- ・ 施設の利用者さんとの会話があまり盛り上がりなかったこと。
- ・ 会話が不自由な方とのコミュニケーションのとり方が初めは難しかった。なので、言葉だけに頼らないコミュニケーションを意識するようにした。相手の表情や目線をしっかりみて、ゆっくりうなずきながら笑顔で接することや、相手が言葉を発するまで焦らず「待つ」ことを意識して見ると最初は難しかったのが、上手くコミュニケーション取れるようになった。
- ・ おじいちゃん方が麻雀に誘ってくださった時は少し戸惑いました。
- ・ 近くに職員さんがいらっしゃるのに、入居者の方からよく分からないことについてお願いされたときに、少し困りました。
- ・ 活動前は上手くできるか不安だったが、活動中はスタッフの方の明確な指示をかけて特筆して何か不安やトラブルがなかった。
- ・ これはやっていいのかダメなのか？コミュニケーションのコツ。
- ・ 活動中不安に感じたことは、初めてでうまくできるか不安でした。

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ ボランティア体験が初めてで、どこまで仕事をしたらいいのか不安になる時があった。
- ・ 座り続けることが難しい利用者さんを座るように促すことが難しかったです。改めて職員の皆さんの偉大さが分かりました。
- ・ 最初はどのように話しかけたらいいのか分からず、少し緊張しました。また、相手に失礼なことを言わないようにどこまで気をつけたらいいのか少し不安に感じていました。
- ・ 最初は緊張していて、利用者さんの名前をなかなか覚えられなかったことが不安でした。また、どのように声をかけたらいいのか迷うこともありました。しかし、職員の方が優しく教えてくださったり、助けてくださったりしたので、少しずつ慣れることができました。
- ・ 車椅子を押したり、飲み物を飲む際の補助をしたりする経験がこれまでなかったため、正し

くサポートできるか常に不安でした。また、利用者の方の手を拭いて消毒しようとした際、手を強く払いのけられ、最初は「嫌がられてしまったのかな」と戸惑いました。しかし、後から職員の方に「本人の意思ではなく、意図せず身体が動いてしまう不随意運動によるもの」と教えていただき、理由が分かって安心しました。この経験から、相手の行動だけで判断せず、その人のことを理解しようとするのが大切だと学びました。

- ・ 独特なコミュニケーションを取る方がいて、戸惑った。
- ・ なにをやるかがきっちりと決まっていない時間帯があるので、なにをすれば良いのかわからなかったとき。
- ・ 喋れない利用者さん達とのコミュニケーション。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 持ち物にエプロンが入っていなかったから持っていかなかったが、お昼の時保育士さんがエプロンにマスクをしていて、何も着ていない私は手伝っていいのかわからなかった。一応声はかけたが大丈夫だと言われたので、衛生管理は意識した方が良かったと思った。
- ・ たまに自分がどこにいればいいのか、ここにいたら邪魔かな…などと、自分のいるべき場所がわからなかったです。
- ・ 子供たちが足に絡みついてくるときや膝の上からどいてくれない時があったこと。
- ・ 特になかったけど、最初に接し方に困っていたら子ども達の方から話しかけてくれた。
- ・ どのくらい触ったり手伝ったりしていいのかが少しわからなかった。
- ・ 初めての場所だったので緊張して、どうしたらいいかわからないこともあった。
- ・ 初めはどのように接したら良いのかわからなかった。
- ・ 活動中に不安を感じたことは、園児の安全管理についてです。担当した園児の年齢によっては、ほんの少し目を離した隙に大きな怪我につながってしまうのではないかというリスクを強く感じました。常に周囲へ目を配り、緊張感を持って見守る難しさを実感するとともに、子どもたちの命を預かる保育士という仕事の責任の重さを身をもって学ぶ機会となりました。
- ・ 小さい子たちが何をするかわからないため、いつも緊張した状態で過ごしていた。
- ・ 先生がいない時に子供達が喧嘩をし始めた時。
- ・ ありませんでした。疑問は職員の皆さんにお聞きし、あたたかく受け入れて下さったからです。
- ・ 活動をしていく中で、自分の行動が、子供達の命にすごく関わっているなと思い、とても不安に感じました。
- ・ 施設の方々がとても優しく接して下さったので、特に困ったことはありませんでした。
- ・ おもちゃの片付けをしていたら子供達に端から出されていったこと。
- ・ 最初は距離感が分からなかった。
- ・ 子供達が怪我しないか不安に感じた。
- ・ 子供が目の前でけんかをしたこと。
- ・ 言葉での意思疎通ができない0歳児クラスに入って活動したため、急に泣いてしまった時な

どうすべきかわからず困った。

- ・ 最初は子供たちが遊んでいるところにどうまざればいいのか分からず少し困った
- ・ 例えばおもちゃの取り合いになってしまった際、貸してあげるよと言うか順番だから待つよと言うか、折衷案を出すことが難しかった。また「〇〇しよう」という指示がとまらない園児さんにどこまで強制していいのか、私が介入していいのか迷う場面があった。
- ・ 1人が泣いてしまうともう1人またもう1人と泣き始めてしまったことです。
- ・ 最初緊張していて何をしたらいいのか分からなかったけれど先生方が教えてくださったのであまり不安に感じませんでした。
- ・ 1度に複数人から話しかけられて対応しづらかった。
- ・ 普段の保育園を知らないなので、次何をするかやどこにいればいいかがわからなかった。
- ・ 活動当初は、子どもたちとどう接すれば良いか、どうやったら仲良くなれるのか分からず、心配だった。
- ・ 園児たち(特に0から1歳の小さい子達)とのコミュニケーション。
- ・ 小さなぶつかりで子供たちが叩き合ったり泣いたりしていたことが不安だった。
- ・ 絵本を読んでいたら、途中で「これ読んで～」と何人も言ってきてくれて中断されてしまって困った。「順番だよ～」と言った。
- ・ 男の子が走ってしまって「走っちゃだめだよ～」と捕まえようとしたらその子が転んじやった。
- ・ 「お兄ちゃん帰って」と言われたこと。
- ・ 先生の言うことをなかなか聞かない子の世話。
- ・ 子ども同士で遊んでいる中で、一方の子が「嫌」と言っているのに、もう一人の子がやめない場面があった。そのとき、どのように声をかければお互いの気持ちを尊重しながら仲直りできるのか分からず、困った。
- ・ 子供同士の喧嘩などへの対応で困ったことがありました。
- ・ 最初、人見知りで固まってる子と距離をちぢめることが大変だった。
- ・ 元気すぎて自分から遊ぶことを誘えなかったこと。
- ・ 子供が寝てくれないこと。
- ・ 子供への話しかけ方が適切かどうか。
- ・ 小さい子だと何を伝えようとしてくれていたのかがわからない時があって、困った。
- ・ 子供が楽しんでくれているか。
- ・ できるだけこどもにはきびしくしたくないのに、たまに少し厳しくしないといけなかったとき。
- ・ 初日の初めに、何をすればいいか説明して頂いていなかったもので、何をしたらいいか少し困ったことがありましたが、その後少し経って先生に聞いたら教えてくださったので、すぐに解決しました。
- ・ 子どもたちがそれぞれのタイミングで話していくので、みんな話を聞くのが難しかったこと。

- ・ 優しくにぎったつもりだったが、子供を触る時の力加減があまりわからなかった。
- ・ 特にはなかったけど、あまり小さい子と関わったことがなかったから遊び方とかは少し難しかった。
- ・ 最初部屋に入ったときは子どもたちの視線やなじめるかという不安がありました。しかし、すぐ話しかけられて安心しました。
- ・ 子どもたちとの自分のかわり方が、これで合っているのか不安に思うこともありました。
- ・ カードゲームをして遊んでいた時にルールの認識の違いで子供同士で揉めていたこと。どのように対応したらいいかが分からなかった。
- ・ 初めは、少し説明を受けた後にすぐ教室に入ることになって、保育士さんも忙しそうだったので自分から話しかけたり遊びに加わったりするしかなく、馴染めるか不安でした。
- ・ クラスの年齢によってはファーストコンタクトで話しかけてくれる子が少なく、自分から話しかける勇気が必要だったこと。
- ・ はじめ、園児たちとどのように接して良いか分からず、少し戸惑いました。
- ・ 1歳クラスで過ごしたときに、子供が何と言っているのかわからないことが何度かあり、何をすればいいか迷うこともありましたが、結果的に良い接し方ができたかなと思います。
- ・ 一番初めは馴染めるか不安だった
- ・ 一歳くらいの子は今人見知りの時期らしく、近づいたり目があったりしたら泣いてしまって、泣き止ませたいけれど近づくと泣いてしまうのでどうすることもできないというのが、すごく困ってしまった。
- ・ 園児たちが喧嘩を始めたときのとめ方が分からず、保育士の方々に任せてしまったこと。
- ・ 園児たちがお昼寝をしている時間、指示待ちになってしまったこと。
- ・ 保育士さん達と違い、内気な児童とはほとんど話せなかった。
- ・ 子ども達がけんかをしてしまったときの対応
- ・ 子どもを泣かせてしまわないか不安でしたが、何事もありませんでした。
- ・ 子どもどうしがケンカみたいになっちゃったこと。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 予算が足りるか。
- ・ 子ども達の願いをどこまで聞き入れたらいいのかに迷いを感しました。
- ・ 子供が泣いた時にどう声をかけたらいいか困った。
- ・ 蚊に刺され。虫除けを使ってもすぐ蚊に刺されるからどうしたらいいのか困った。
- ・ 利用している子ども同士の喧嘩にどれほど介入していけばいいのか。
- ・ 子供たち複数人に同時に対応しなければならないときがあった。
- ・ ちゃんと役に立っているか不安だった。
- ・ 特になし。寒いくらいでした。

その他

- ・ 何をすれば良いか事前に教えてくれたので特になし。
- ・ 特にありません。
- ・ 緊張してスムーズに話せるかどうか不安だった。
- ・ 質問の意味がたまに分からなくなってしまったことです。
- ・ 特になかったです。
- ・ 銀色の文字がなかなか消えなかったこと。
- ・ 海外の方が日本語を聞き取るのが少し大変な時もありましたが、一生懸命話そうとしている姿をみて応援したくなりました。

⑤ナツボラに参加する前と後で、自分のなかで何か変わったこと。

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・ 仕事をしている人の大変さを知った。
- ・ これまでに比べてより長い時間の将来について考えるようになった。
- ・ ボランティアのやりがいに参加した後ではわかるようになったこと。
- ・ この夏ボラに参加する前と後で変わった事は自分が考えていた施設の中での役割のイメージが変わった。ボランティア前までは正直ほとんど役割も分からないままだった。実際参加してみると、サポートをしている方々には表には見えない大変な役割があり、例えば一人一人の食べた状態やトイレなどの生活の細かいところまでを記録にしていたりしていて、日常のサポート以外のことをしていることを初めて知りました。
- ・ 老人ホームに関しての漠然としたイメージしかなかったのですが、今回で明るくて楽しくてやさしい場所だと感じました。
- ・ 自分の知らない世界にいろんな人がいることが分かった。
- ・ もっと自分の家族とか、自分の未来の事とかについて、具体的にイメージすることができるようになった。
- ・ ボランティアを終えた後から、以前よりも人に優しく接することができるようになりました。
- ・ ボランティア自体が初めてだったこともあり、施設の方々のご期待に沿った行動ができるか不安だったが、覚えてみると、大体の事柄は何とかなり、今後ボランティアや新しいことをする際の自信が少しついた。
- ・ 言葉づかいや自分で考える力がついた。
- ・ かわったことは、年上とのかかわりかたが変わりました。

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ うまくコミュニケーションがとれないかもしれないなと思っていたが、実際に利用者さんと話してみると、たくさんコミュニケーションをしてくださり、考えが変わった。
- ・ 変化したことはありませんでしたが、改めて障害を持つ人にはそれぞれ特徴があることを感じました。人には個性が様々あり、障害にも様々な特徴があるからこそ、関わることで感じられる人の温かさと面白さを改めて感じられた活動でした。

- ・ 参加する前は、利用者の方と接することに少し緊張していました。しかし、実際に活動してみると、皆さんとても気さくに話してくださり、それぞれ自分のペースで楽しそうに過ごしていることが分かりました。利用者の方には色々な方がいるけれど皆さんが自分らしく楽しくいられる場所があるのは素敵だなと、実際に関わって知ることができました。
- ・ 活動前は、初めて会う人に自分から話しかけることに少し緊張していました。しかし、3日間活動する中で、最初は緊張していた私にも利用者さんから声をかけてくださったり、笑顔を見せてくださったりして、少しずつ自分からも話しかけられるようになりました。特に、身体に障害のある方と関わる中で、言葉だけでなく表情やうなずきなどの反応も大切なコミュニケーションであることに気づきました。人と関わる時は、最初からうまく話そうとしすぎず、相手のペースに合わせながら、まずは自分から関わってみることが大切だと感じました。
- ・ 参加前は、「言葉が通じにくいかもしれない」と不安に感じていました。しかし、トーキングエイドや文字盤、選択肢を提示して選んでもらう方法、アプリなど、さまざまなコミュニケーション手段があることを知りました。コミュニケーションの方法が違うだけで、気持ちを通わせることができるのだと分かりました。また、芸能人やゲーム、音楽、テレビ、スポーツなど、私たちと同じものが好きな方も多く、障害の有無に関わらず、一人の人として共通する部分がたくさんあることを実感しました。さらに、施設でマーブリングの作品を作り、販売する活動を通して、自分たちの力で社会とつながる姿を知ることができました。今回の経験を通して、参加前に持っていた先入観が変わり、相手を一人の人として知ろうとするこの大切さを学びました。
- ・ 一人ひとり個性があり、様々な形でコミュニケーションを取り過ごされていることに気づいた。
- ・ 行動から、その人がなにをしたいのかを汲み取ったり、性格やくせを読み取ったりするようになったこと。
- ・ 障害者への考え方がかわりました。障害者と関わったことがなかったから、接し方が分からなかったけど今は友達と同じように話せるようになったと思いました。
- ・ 障害者の方への解像度が上がったことである種の決めつけ、偏見のような物がなくなったこと。
- ・ 自分は障害者と接したことがなかったためカルチャーショックを受けたがこういう人がいるんだと理解することができた。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 保育士さんは大変な仕事、人手不足というイメージだったが実際は大変なことだけでなく楽しいこともたくさんあって、将来バイトでやりたいと思うほどだったから、保育士不足は世間が保育士は大変だからやめた方がいいという風潮があるせいでもあると思った。
- ・ 今まで、自分から物事を主体的に取り組む事が少なかったが、ボランティア後は様々な活動に積極的に取り組むことができてよかった。

- ・ 小さい子供に対するイメージが変わった。参加する前のイメージよりもとても元気でできないこともまだまだ多かった。
- ・ いろんな人達がいるこの世の中で、1人1人の年齢や細かい背景は違うから、いろんな人への接し方を知らないといけない中、今回の夏ボラを通して小さい子供達への接し方を学ぶことができた。
- ・ さらに子どもが好きになった。
- ・ 子どもと関わることもっと楽しいと感じられるようになった。
- ・ 指示を待つのではなく、自ら動けるようになったと思う。
- ・ ボランティアへの参加を経て、状況に応じた正しい言葉遣いを意識し、実践できるようになりました。園児だけでなく、保護者への挨拶や職員の皆さんとの連携など、保育の現場では多くの大人と関わる機会があることを学びました。そこで、日常の話し言葉と敬語が混同しないよう、一呼吸置いて早口にならないように話すことを徹底しました。このように、ただ敬語を使うだけでなく「相手に聞き取りやすく、丁寧に伝える」という話し方への意識の変化が、今回の活動で得られた最も大きな収穫です。
- ・ 普段あまり関わらない保育園児と触れ合えた。
- ・ 自らすることを聞きに行くことや、小さい子たちとの接し方、関わり方を学ぶことができた。
- ・ 子ども達との関わりかたやコミュニケーション方法について考えるきっかけになった。
- ・ 小さい子への印象。自分で考えて行動に移すことができていくこと。
- ・ 保育園の印象が変わりました。保育園には少し暗い印象があったのですが、木の温もりと自然、人の温かさを感じられ、明るい印象に変わりました。
- ・ 以前は、自分の行動が他者にはあまり影響しないかなと思っていましたが、ナツボラに参加して、自分の行動が誰かに必ず影響を与えているんだなと気づき、その自分の行動が良いものであるほど、世界がとても優しく、素敵なものになるなと思えるようになりました。
- ・ そして、ボランティアは良い行動の代表的なものだなとも思いました。
- ・ 参加する前は、若干子供に苦手意識があったけれど、今はそれほどなくなった
- ・ 小さな子が「先生」と呼んでくれて、自分より、年下の子に対しての思いが少し変わった。
- ・ 人との関わりが改めて変わった。
- ・ 自発的に親の手伝いをするようになった。
- ・ ボランティアも楽しいものだということが分かった。
- ・ ナツボラに参加するまでは子供と遊ぶのがあんなに疲れると思っていませんでした。
- ・ はじめより子供たちに積極的に話しかけられるようになった。
- ・ 最初は、どう園児さんと接したらいいのか、どう立ち回ったらいいのか迷う場面もあったが、保育士の皆様の言い回しを真似してみたり、泣いている子や1人である子に積極的に話しかけることで、3日間を通して徐々に慣れていくことができた気がする。
- ・ 以前は保育園に通っていましたが、今回は、反対に保育をさせてもらいました。想像していたよりも大変で、保育士さんのすごさを知りました。また、小さい子たちの行動や気持ちが以前よりも理解することができるようになった気がします。

- ・ 赤ちゃんのお世話は本当にいろんなことが大変なんだとわかった。自分が赤ちゃんのときもいろんな人に支えられていたんだと感謝の気持ちになった。
- ・ 今回大変な仕事をしていて、楽しく遊べているのは、影で色んな人が大変な思いをしているからなんだと改めて感じました。
- ・ 保育士という仕事の内容を初めて詳しく知ることができた。
- ・ より子供に関心をもてた。
- ・ 一度にたくさんの子どもの世話をするので、聞く力が増えたと思う。
- ・ 自分から積極的に初対面の人に仲良くなろうと心がけたこと。
- ・ 園児たちが私に笑いかけてくれると、必然的に、私も笑顔になれたので、笑顔の大切さを学びました。
- ・ 子どもたちがささいなことでケンカしたり手をあげてしまっていたところを先生が仲裁に入ってしまった。その内容が「人をなぐってはいけない」「あやまらなければいけない」と当たり前の人として大切な内容であった。このような価値観は幼いころに育てられるものなので、私も子どもをしっかりとしかれる人になりたいと思った。
- ・ 2才というのは話はするけど会話はできないと気づいたこと。
- ・ 小さいことのコミュニケーションがうまくいくか心配だったけど、みんな積極的に話しかけてくれて、小さい子のお世話は楽しいと思った。
- ・ 活動を通して、一人ひとりの気持ちを考えて行動することの大切さを学んだ。以前よりも周りを見て、自分から行動できるようになった。
- ・ ナツボラに参加するまでは、ボランティアってめんどくさそうだなと思っていたのですが、参加してみて、すごく楽しかったですし職業体験もできたので、ボランティアってすごいなと思いました。
- ・ 積極的に働くことの大切さを感じた。
- ・ 働いてる人たち同士の雰囲気がとても良かったところ。
- ・ 昼寝の時間はあっさり寝るのかと思ったけど、全然眠ってくれないところがわかったところ。
- ・ 子供がとても好きになった。
- ・ 一人一人との会話を丁寧に大切にすることができた。
- ・ 参加した事でより人が何を考えているかを深くかんがえるようになりました。
- ・ 参加する前は、こどもに嫌われたり、冷たくされたりするのが不安だったけど、終わったあとは自分に自信がつきました。
- ・ 参加する前は、何をしたらいいんだろう、と不安なきもちがいっぱいでした。保育園でボランティアをするという、偉大な責任感があったからです。ですが、終わった後は、思ったより責任のある仕事をするのが得意なのかも、と前向きに考えることができて、自信がついた気がしました。
- ・ 私は、子どもたちと一緒に遊べるか心配だったけど、ナツボラをやってみたら、子どもたちが一緒に遊んでくれてよかったです。準備は大変だったけど、頑張ってやり遂げたので、嬉しい気持ちになりました。

- ・ 保育士という仕事について印象が変わった。
- ・ もともと大変な仕事というイメージが強かったけど、子どもの成長を一番近くで見れるやりがいのある仕事なんだと感じた。
- ・ 保育園の先生への認識が変わりました。保育園の先生はすごいと思いました。もともと、保育園の先生は子どもたちをまとめ上げるのが上手なのかなというイメージしかなく、保育園の先生の凄さは想像上でしかありませんでした。実際にボランティアを経験して、保育園の先生は子どもをまとめ上げるのもそうですが、状況に応じて臨機応変に対応できるところ、子どもたちの意見や声を隅まで汲み上げるところなどがすごいと思いました。
- ・ 子ども達との関わり方や姿勢について自分の中の知識と実際の状況と違い、学びになったこと。
- ・ 小さい子は大人や中学生と違って、スラスラ言えないので、話を聞くのに時間がかかったが、人を待ってあげるという忍耐性がついた。
- ・ 言葉の伝え方（わかりやすく言うことの大切さ）。
- ・ 変わったことは自分の考え方です。5 歳児の子たちの特定の子とだけ遊ぶのではなくて、いろいろな子と遊ぶ姿、楽しそうなことをしている子がいたら混ぜてもらおう姿を見て、私は中学生でもそういうことをする大切さを学びました。
- ・ 積極性が高くなったと思います。時間に気をつけて動けるようにもなりました。
- ・ あまり小さい子と接するのは得意ではなかったけど、今回のボランティアでどんな風に接したら小さい子が接しやすくなれるか知れた。
- ・ Q3 にも書いた通り、子供達の名前も特性も何もわからない状態から、自発的に行動して、自分で道を作っていく、という貴重な体験をさせていただきました。今回のボランティアを経て、改めて「考えて自分から動く」ということの大切さを知ることができたのが、自分の中で変わったポイントだと思います。
- ・ 子供達との接し方。
- ・ 自分の発する言葉が本当に良いかどうかを考えてから、言葉を発するようになりました。
- ・ 今までボランティアをしたことがなかったのですが、今回初めて参加して、自分がとても周りの人に支えられてきたんだということを強く実感しました。そのため、これからもできるときには身近なところから恩返しをしていきたいと思いました。
- ・ 子供達との接し方。
- ・ 私の場合、変わったなと思うのは距離の置き方です。小さい子達からすると知らない人っていうのはとてもこわくて、上でかいたように泣いてしまったりした。なので、必要以上には近づかなかったり、あえて目を合わさないようにしたりした。
- ・ 小さい子の魅力をさらに見つけることができた。積極的に話しかけることができるようになった。
- ・ 子供たちにもひとりひとり複雑な感情があって、それを完全に理解するのは難しいということ。
- ・ 小さな子ども達にもそれぞれ独立した考え方や価値観がある一人の人間だと実感できた。

- ・ 子どもが意外とかわいい
- ・ 顔を見て小さい子の意思をくみ取ってコミュニケーションを取ること。
- ・ 人それぞれのよさがあると思ったことです。
- ・ 特にないです。
- ・ 最初はとても不安だったんですけど、とてもみなさんがいろいろやさしくしてくれて、とても安心しました。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 区のサポートの重大さがより一そうわかりました。
- ・ 自分たちが遊ぶための準備の大変さ。
- ・ 参加する前は、子どもたちみんな走り回ったり大人しくできないという偏見を持っていたが、全くそんなことはなく、みんな真面目に話を聞いたり、うちわ作りに真剣に取り組んでいて驚きました。
- ・ 子ども達一人ひとりをみる気持ちがより深まりました。子どもは一人ひとり違っていい、という思いを持っていましたが、活動を通して、そのいいという思いの受け入れ先が存在することの大切さを学びました。世の中がいいと言っても、実行する場がないと世の中は変わらないことが現実です。こちらでの活動を通して、そのような考え方を実行し、子ども一人ひとりをみて、気持ちに寄り添っていると感じました。
- ・ 普段は小さい子と遊ぶ機会が少ないのでどう言う話をしたりどう接するのがいいか学べた。
- ・ 潔癖症という訳じゃないけれど、いつも洗い場のごみ処理がすごく嫌で、ゴム手袋をつけてもすごく嫌だったんだけど、プレーパークがすごくワイルドな場所だったおかげか、ごみ処理に抵抗がなくなった。
- ・ 自分が、という訳じゃないので少しズレてしまうが母から「いい意味でなんか...変わったね、色々...協調性とか自抑制とか、積極性とかも。」と言っていた。
- ・ 好きなことをして遊べるっていうのはどの程度のものなのか想像もつかなかったが、雨が降りしきり、気温が低い中プールでバケツを使って水をかけあって遊んだり、泥を投げあったり、虫取りをしたり、小屋の屋根の上に登って鬼ごっこをしていたり、多数決を取らずにゲームをして勝った人が決めたり自分で責任を持ちつつ、なにか困ったことがあったら大人に相談できる環境っていうのが自由に遊べるということなのだと学んだ。
- ・ どんなときでも冷静に行動することを心がけるようになった。
- ・ 自分で考えて行動することが大切なんだと知った。
- ・ 今まで遊んでいた場所が色んな人のおかげで支えられていることに気づいた。
- ・ 川は寒くても楽しんでしまえば感じないことに気づきました。

その他

- ・ 活動前はボランティアは難しいと思っていたが活動中に何をすれば良いかガイダンスで教えてくれたので意外とできると思った。

- ・ 日本語講師の人を見て、ボランティアをする側への関心が高まった。
- ・ 最初は緊張してうまくいか不安だったが、全くそれはなく、楽しめた。
- ・ もっと優しい日本語を使うようになったことです。
- ・ このような活動もあるのだと知り、視野が広がった。
- ・ 落書きを見る意識が変わった。
- ・ 前はただ落書きがあるというだけだったけど、今は落書きを見ることで今回の活動を思い出すようになった。
- ・ アートの面白さを知れた。
- ・ どんなに日本語が難しくて学ぼうとする姿勢を崩さず、自分なりの勉強のやり方や覚え方を見つけ、努力する姿に感動し、私もこの方々のように言語学習を頑張りたいと思いました。

⑥ナツボラの体験を通して、自分の周りの人たちに伝えたいこと。

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・ 社会経験として役に立った。
- ・ 普段あまり意識されないが、社会を支えていただいている福祉があると言う事
- ・ 一度やればどのような仕事をしているかわかり、今まで抱いていたイメージも変わる事。
- ・ まずは自分の祖父母にも自分が経験した施設内での体験を話したいと思った。そして、友達にも、自分が経験したことを伝えたい。
- ・ 老人ホームをあまりよく知らない人がいたらボランティアや交流会を通じてたくさん知ってほしいなと思います。
- ・ 人を偏見で見ず、いろんな人に優しくしていかないといけない。
- ・ 今、生きてる時間を大切にしていこうと伝えたいです。
- ・ 入居者の方々がとても親切だったこと。
- ・ 高齢者の方でも耳もよく聞こえて元気な人から、体を動かすのがきつと感じる人まで幅広くいるので、その人に合った形で接するのが大切。
- ・ こういう経験も大切だよ。今やっておくと将来良いよ。
- ・ 今回体験した体験談などをはなしたいです。

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ 障害者の方に寄り添い、共に暮らしていけるような社会をつくっていききたい。
- ・ 素敵な場所があることを伝えたいです。今回は入ることができませんでしたが、カフェがあり、素敵なお庭もあり、区からの依頼を受けて活動している皆さんがいる場所があることを知って欲しいと感じました。まずは足を踏み入れて、その存在を知ってもらうことは偏見をなくするための一歩につながるのではないかと感じます。
- ・ 実際に関わってみると、一人一人性格や生活の仕方が違って、皆さん自分のペースで活動していってらっしゃったので、病気があるという一つの面だけでその人を決めつけず、その人自身を知ることが大切だと伝えたいです。

- ・ 今回の体験を通して、障害があるということだけで、その人との関わり方を難しく考えすぎなくてもよいということを伝えたいです。実際に関わってみると、笑顔で接して下さったり、楽しくお話ししたりすることができました。相手のことを知ろうとする気持ちを大切に、障害の有無に関係なく自然に関わってほしいと思います。
- ・ 障害があるという理由だけで、自分たちとは違う特別な存在だと思い込まないでほしいと伝えたいです。私たちと同じように、テレビを見たり、好きな音楽を楽しんだり、それぞれの好きなことや思いを持っている一人の人です。車椅子を使っていたり、コミュニケーションの方法が少し違ったりするだけで、構えたり遠慮したりする必要はありません。相手を一人の人間として知ろうとする大切さを、周りの人にも伝えていきたいです。
- ・ 人を見た目で判断するのではなく、自ら積極的にコミュニケーションを取ると会話が生まれて自分の輪が広がる。
- ・ 新しいことをしてみるべきだと思う。
- ・ たくさんの人と関わり接することの大切さを、伝えたいです。
- ・ 障害者支援施設は皆のイメージより明るい雰囲気で行き過ぎてること。
- ・ 障害者がいたとして嘲笑や不安を感じるのではなく、それを受け入れることが大切であるということ。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 保育園のボランティアはみんな懐いてくれて、1 時間の休みがあり、活動しやすいからぜひ行ってほしい。
- ・ 子供たちと関わる事で、今までとは違う自分のものの見方に会える事ができた。また、思いもよらなかった発想などを実感する事ができてよかった。
- ・ 保育士さんはとても体力のある人ですすごいということ。
- ・ 周りの同じ年齢や学年の人たちにどう言う経験をして、何を学べる事ができたかや、さっき書いたように人それぞれの接し方があるということを伝えたいです。
- ・ いろんな所で大変な思いをしている方がいるためボランティアで少しでも負担が減らすことが出来るということ。
- ・ 無償でも、他の人のために働くことは楽しいということ。
- ・ 普段できない体験ができ、とても良かった。自発的に動くことが大切だと気づけた。
- ・ 今回の体験を通して、ボランティア活動は他者へ貢献するだけでなく、自分自身を大きく成長させてくれる貴重な機会であると伝えたいです。実は、私は保育士という進路について悩んでいましたが、今回の活動を通じて実際の保育現場の「リアル」を体感することができました。子どもたちと触れ合う楽しさはもちろん、安全管理の難しさや、社会人としての正しい言葉遣いの重要性を学べたことは、今後の進路選択において大きな財産となりました。将来について考える視野が大きく広がるため、進路に悩んでいる友人や後輩たちにも、ぜひ参加を勧めたいです。
- ・ ボランティアはハードルが高いと思われがちだが、ナツボラでは挑戦しやすかった。

- ・ ボランティアは自分がやってあげるものではなく、自分がさせてもらう側だということを肝に命じてやるのが基本の「き」の字だということを伝えたい。
- ・ ボランティアを通して、自分の可能性に気がつけること。
- ・ 新しい価値観に出会えた。
- ・ 施設のボランティアは初めてで、緊張と不安があったのですが、気になることにはまずチャレンジしてみて！そして、このナツボラで！ということを伝えたいです。頭の中だけでは想像しきれない職員さんの努力を学び、感じるができるのはボランティア体験だからこそです。しかし、ボランティアには憧れがあり、なかなか挑戦することが難しいと感じます。しかし、世田谷区をあげてのナツボラ開催だからこそ、安心感も加わるこの機会は皆さんの夏を明るく彩るものになると思います。
- ・ 今、私がこうやって幸せに生きていられるのは、周りの人たちがとても優しい人たちだからなんだなと気づけたので、本当に、感謝を伝えたいです。
- ・ 保育士の仕事が結構大変だったということ。
- ・ いろんな人が手伝いやボランティアで役に立つ交流ができるということ
- ・ 子供達と共に生活することの大切さ。
- ・ 子供の世話をすることは大変なので、周りに子供や困っている親がいたら、積極的に助けるべきということを伝えたい。
- ・ 子供はとんでもなく可愛いこと。
- ・ 子供は可愛いけれどお世話するのはすごく疲れるということや、0 歳児にもそれぞれの性格の個性があるということ。
- ・ 子供はひとりひとり個性があるのでどう接すればいいのか難しいこともあるけれど、子供と関わるのはとても楽しいので関わってみて欲しい。
- ・ 今回、親の薦めで初めてナツボラの存在を知り参加させていただきました。1 歳異なるだけで全く異なるクラスの様子に翻弄されつつも、お子さまの成長の早さを感じるとともに、その成長を見守ることができるお仕事に興味を抱いた。ぜひ中高生の方々にもお薦めしたい。
- ・ 色々な人への感謝の気持ち。
- ・ たくさんお世話してもらったお母さんやお父さんに感謝の気持ちを伝えたい。
- ・ 大変なことをやった先には、誰かの笑顔があることを周りの人に伝えていきたいです。
- ・ 子供たちに元気やパワーをもらえる素敵な保育園で、とても楽しかったと伝えたいです。
- ・ 保育園の仕事はとてもやりがいを感じる。
- ・ 自分の知らない世界が広がっているので、1 回でもいいのでボランティアに参加してみてください。
- ・ 物事を始める前から苦手意識を持たないで、まずはやってみるということ。
- ・ 年齢関係なく、「仲良くしようとする」と「笑顔」があれば仲良くなることができるということ。
- ・ 仕事の大変さや給与の見合っとなさがよく社会問題になっているが、それはテレビで見ているだけではわからない。何事も経験が大切。

- ・ 2才の常識のなさも知らないといけないこと。
- ・ 保育士の人たちは、休憩時間にも子どものことを考えていて、楽しく過ごせたり学べたりするためにいろいろ考えてくれていること。
- ・ 保育園でのボランティアを通して、子どもたちと関わる楽しさや、周りの人を思いやることの大切さを伝えたい。
- ・ ボランティアはみんなのためになるだけでなく、自分も楽しむことができるということを伝えたいです。
- ・ ボランティアは大変なイメージがあるけど、好きなことをボランティアにすれば苦痛ではない。
- ・ 親にいつもありがとうと伝えたい。
- ・ 親に大変だったねと伝えたい。
- ・ 三日間以上やった方が良かった。
- ・ 自分達の知らないところで自分のことを思って行動してくれている人がいるかもしれないということ。
- ・ 知ってやってみると面白いことは沢山あるよ。
- ・ 社会には一人一人にやくわりがあり、そのやくわりをがんばると、必ずいいことがおきる。
- ・ やる前は、上手くできる自信がなくても、やってみれば、自信が着くし、体験できて良かったと思うことが出来るから、まず初めはやってみる、という気持ちを大切にしてほしい、ということ伝えたい。
- ・ 自分が考えた遊びを、子どもたちが楽しんでくれて、自分も楽しくて嬉しくなったので、ナツボラは幸せな体験です。【わたしにとってナツボラとは、幸せな体験。これからわたしは、子どもたちの生きることを応援します！】
- ・ ボランティアをすることでいろんな人を笑顔にできること。それによって自分も笑顔になれること。
- ・ 「保育園の先生は私たちが思っている以上に色々なことを同時にこなしています。すごい方々です。」ということ伝えたいです。
- ・ 人と関わる大切さを学んだこと。
- ・ ボランティアはしてあげるのではなく、させてもらう側という事を忘れずに一生懸命やるものだということを伝えたい。
- ・ 最初は緊張してたし仲良くなれるか不安だったけど、何か一つでも（遊び方や話し方）変えるだけで相手からたくさんお話ししてくれたり、仲良くできるようになった。
- ・ これだけかわいらしくて発想力が高い子どもたちは、将来の日本に欠かせません。だから事故で亡くなるという防げるものを防いで、たくさんの今の子どもたちが生きれる世の中にしたいです。
- ・ 初めての仕事もありますが、できるようになると自信がつくと思います。
- ・ 小さい子と接するのは難しいけど、みんな素直で優しく、すごい楽しかったいい経験になりました。またボランティアをしたいと思えました。

- ・ 自分で考えて行動してみることの大切さ。
- ・ 子供達も一人一人の人間として、向き合わなければならないということ。
- ・ 人のために時間や労力を費やすことはとてもやりがいがあるということ。
- ・ ボランティアをすることの楽しさや、学びについて伝えたいです。
- ・ 保育は大変ということ。
- ・ 保育士さんや親の大変さを伝えたいです。よだれが出たらふいてあげて、泣いていたらだっこしてあげてと愛がないとできないことばかりだったのでそのありがたみを伝えたいです。
- ・ 私が今回のボランティアで得た経験。
- ・ 年の離れた子供たちと関わることは、確かに大変だし疲れることもあるけれど、楽しそうにしている姿に元気をもらえること。
- ・ みんなもう少し子供と関わる機会を持ってみても良いかもしれない。
- ・ 自分が思うよりも、体験先はいい所だった。
- ・ 子どもは年れいによって言動が異なるから、その年れいに合った対応をすること。
- ・ いいけいけんになりました。
- ・ 楽しいこと、大切なこと、たいへんなことなど理解できたので、ボランティアなどに少しでも興味があれば行ってみてほしいです。
- ・ ぜひいい経験になると思うので、ぜひ参加してみてください。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ そういう施設をたくさんの人に利用して欲しいと思いました。
- ・ ワーカーに感謝をもう少ししてください。
- ・ 今回の体験を通して、障害のある子どもに対する偏見や思い込みを無くしてほしいと思った。実際に関わることが大切なことだと伝えたい。
- ・ 障害を持っていたとしても、一緒に遊ぶことはやはり楽しいのだということを伝えたいです。知的な発達に遅れがあると聞くと、遊んでも自分が楽しめないのではと思うかもしれませんが、しかし、実際に関わると様々な知識を持っていたり、その子の大好きな想いが伝わってきたり、関わるこちら側が感じられること、楽しめることがたくさんあります。だからこそ、自分の常識の中で決めつけるのではなく、まずは一歩踏み出し、自分とは違う点からのものの見方を知りに行く気持ちで活動してみてください。きっと、それ以上の出会いと楽しさを感じることができると思います！
- ・ コミュニケーションをとる時に相手のことを考えながら話す。
- ・ 金が貰える貰えないとかほんとどうでもいいくらい楽しい体験が出来ると思いました、最初は少しブルーというか、やる気がなかったり「コミュ障だからできないかも、楽しくないかも...」と思っていた僕でも話しかけてくれたし、話してもくれたし、何よりフレンドリーで距離が近くて最高。1度は行くべき。
- ・ 子どもが遊ぶ場所と言っても、学童クラブや、公園や、青少年交流センター、そしてプレーパークなどたくさんの場所と、それぞれの価値観があっていいのだなと感じたこと。

- ・ 障害の有無にかかわらず、仲良く接した方が良いことを伝えたい。
- ・ とにかく色々な人と関わってみると気が合う人がいたりすること。
- ・ 人に感謝する。
- ・ たいへんだけど楽しいことを伝えたいです。

その他

- ・ 何事も自発的にすることが大切。
- ・ 敷居が高いと思っていたが、実際は気軽に参加できたので他の人にも参加してみたいと思う。
- ・ 機会があれば、ボランティア活動はやるべきであるということ。
- ・ 外国人方にも理解できるような日本語で話さなければならないことです。
- ・ ナツボラの体験は、初めてのことが多く社会経験にもなり少しでも役立つことができるのかなと思う。
- ・ 落書きは困っている人がいるということ。
- ・ 地域のためになる活動はするべき。
- ・ 海外の方は一生懸命、緊張しながらも日本語を話されており、そのことを周りの人にしてもらいたいと思います。

⑦活動先のみなさんへのメッセージ(活動先)

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・ この体験を生かして頑張ります。ありがとうございました。(久我山園)
- ・ 短い間ですが、お世話になりました。また機会があればお手伝いさせていただきたいと思います。(久我山園)
- ・ 3日間という短い間ですが関わりを持てたことに感謝しています。(久我山園)
- ・ はじめてのボランティアで、何もわからない私を受け入れてくださりありがとうございました。施設のお話や状況をその都度優しく教えてくださりありがとうございました。表には見えない大変な役割があることを知りました。初めは緊張していたけれど、施設の皆さんとお話をさせていただいたり、皆さんと体操したりご飯を食べたり、紙パック遊びをしたりして楽しくすごすことができ、学びにもなりました。また機会があればお会い出来ると嬉しいです。私も将来、人のために役に立つ仕事に着けるように頑張ります。お世話になりました。(グループホーム花みず木)
- ・ 半日と短い時間でしたがありがとうございました。優しく受け入れをいただき、とても嬉しく安心しました。機会があればまた老人ホームに関する活動に参加してみようと思います。本当にありがとうございました。(デイホーム赤堤)
- ・ おかげさまで楽しく活動することができました！本当にありがとうございます！（砦デイサービス）
- ・ 二日間ありがとうございました。(久我山園)

- ・ 3日間お世話になりました！！お忙しいなか貴重な体験をさせていただきありがとうございました。(久我山園)
- ・ 二日間お忙しい中快く受け入れてくださりありがとうございました。デイサービスがどのような場所か知れてとても良い経験になりました。(砧デイサービスセンター)
- ・ 今回はありがとうございました。またご縁がありましたらよろしくお願いします。(たつなみ会)
- ・ 今回は貴重な体験ありがとうございました。(久我山園)

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ 1日ありがとうございました。みなさんとの会話がとても楽しかったです！(下馬福祉工房)
- ・ 活動を通して、利用者さんとも職員さんとも関わることができ、新たな学びを得られた有意義な時間でした。一人ひとりの特徴に合わせた職員さんの動きがとても印象に残っています。次の機会には、カフェにも行ってみたいと思います。1日の活動ではありましたが、温かく受け入れてくださり、ありがとうございました。(世田谷福祉作業所)
- ・ 3日間ありがとうございました。最初は緊張していましたが、利用者さんがたくさん話しかけてくださったり、職員の皆さんが優しく声をかけてくださったりしたおかげで、楽しく活動することができました。一緒に作業をしたり、いろいろなお話を聞いたりすることができ嬉しかったです。また、職員の皆さんが利用者さん一人一人に合わせて声をかけたりサポートしたりしている姿を見て、相手に合わせて関わることの大切さも学びました。3日間の貴重な経験をこれからも大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。(梅丘ウッドベッカーの森)
- ・ 3日間、温かく迎えてくださりありがとうございました。最初は緊張していて、利用者さんの名前を覚えたり、どのように接したらよいのか考えたりすることもありましたが、職員の皆さんが優しく教えてくださったおかげで、少しずつ慣れることができました。利用者さんとも少しずつお話しすることができ、3日間を通して自然に関われるようになったことがうれしかったです。今回の体験で学んだことをこれからの生活にも生かしていきたいと思います。3日間、本当にありがとうございました。(すまいる梅丘)
- ・ 今回の活動は、私にとってとても貴重な経験になりました。実際活動する中で、利用者の方一人ひとりの個性や好きなことを知ることができ、とても楽しかったです。特に、私と同じディズニーキャラクターが好きな方がいらっしゃり、共通の話題でお話しできたことがうれしかったです。短い時間ではありましたが、一緒に過ごす中で少しずつ距離が縮まったように感じ、とても充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。(玉堤つどいの家)
- ・ 2日間という短い期間でしたが、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございます。たくさんの方とお話しできて楽しかったです。(泉の家)
- ・ 面白かったし一人一人個性が豊かで良かった。ありがとうございました。(桜上水福祉園)
- ・ 学ぶことがたくさんあって充実した1日でした！利用者さんもスタッフさんも緊張していた

私にたくさん話しかけてくれて嬉しかったです！1日だけでしたが様々なことを教えてくださりありがとうございます！（岡本福祉作業ホーム）

- ・ とても心地よく過ごさせていただきました！来年は忙しくなってしまいますが、またどこか時間のある時にお邪魔したいです。4日間本当にありがとうございました。（世田谷区立三宿つくしんぼホーム）

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ この度は、初めてのボランティアという事もあり、ご迷惑をおかけしたと思いますが、また機会があれば行かせていただきたいです。（赤堤保育園）
- ・ 貴重な体験をありがとうございました。元気な子供たちと一緒に過ごせて嬉しかったです。（赤堤保育園）
- ・ 2日間ありがとうございました。様々なハプニングがある中で対応することができなかったり、困っていて、迷惑をかけてしまったかもしれませんが、機会があれば、また行かせていただきたいです。（赤堤保育園）
- ・ わからないことが多かった自分に丁寧に教えてくださりありがとうございました。（赤堤保育園）
- ・ 2日間ありがとうございました。短い時間でしたが、たくさん新しい経験をするのができて嬉しかったです。また機会があればボランティアできたらと思います。改めてありがとうございました。（大蔵保育園）
- ・ 2日間ありがとうございました。小さな子どもたちの元気さや行動力は私たち中学生も忘れてはいけなないと気付ける機会となりました。（尾山台みどり保育園）
- ・ かわいい子達とふれ合えてとてもいい経験になりました。とても感謝しています。お世話になりました！（尾山台みどり保育園）
- ・ ありがとうございました。（上馬保育園）
- ・ 小さい児という初めての年れいの子と関わって、言いたいことなどをくみ取ることが大変でしたが、新しい発見や今まで経験したことがないことをたくさんできて嬉しかったです。（上馬保育園）
- ・ お世話になりました。活動の大変さを知りました。がんばってください。（上馬保育園）
- ・ 貴重な体験をありがとうございました。（上祖師谷保育園）
- ・ 私は一人っ子ゆえ自分よりも年下の子達と接する機会があまりなく、今回園児の皆さんとたくさん関わることができて嬉しかったです。3日間貴重な体験をありがとうございました。（上祖師谷保育園）
- ・ すごく貴重な体験ができました！ありがとうございました。子どもたちと遊べてたのしかったですし、何か未来を感じさせられました。（烏山保育園）
- ・ 貴重な体験をありがとう。（烏山保育園）
- ・ この度は大変お忙しい中、3日間の貴重なボランティア体験をさせていただき、本当にありがとうございました。毎日違う年齢のクラスを担当させていただいたことで、日々新しい発

見と深い学びを得ることができました。特に、先生方をニックネームで呼び合う温かい雰囲気や、園児の皆さんの主体性を大切にする「強要しない方針」がとても素敵で、非常に感銘を受けました。ニックネームのおかげで私も園児たちとすぐに打ち解けることができ、心を通わせる喜びを知ることができました。園の皆様に温かく受け入れていただいた経験を、今後の進路にしっかりと活かしてまいります。また機会がございましたら、ぜひ貴園でボランティアをさせていただけますと幸いです。心より感謝申し上げます。(烏山杉の子保育園)

- ・ 3 日間大変お世話になりました。黙々と作業をする時間も、子ども達と関わる時間も、初めての事ばかりでしたが、職員の皆さんの素敵な笑顔と見守る姿勢を近くで感じることができました。そして、私自身もとても楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。(烏山杉の子保育園分園みなみ風)
- ・ ナツボラの体験をやらせてくれて、ありがとうございました。また次もよろしくお願いします。(烏山杉の子保育園分園みなみ風)
- ・ ボランティアとしての活動をサポートしていただき、ありがとうございました。緊張しているときには先生方が盛り上げてくれたおかげで、手遊び歌や読み聞かせがスムーズになりました。そして、こどもたちと交流しているときも、先生に話に入っていたいたのおかげで、こどもたちと話しやすくなりました。本当にありがとうございました。(烏山杉の子保育園分園みなみ風)
- ・ 3 日間大変お世話になりました。初めてのボランティア活動でご迷惑をおかけすることもあったかと存じますが、優しくご指導いただき、楽しく活動することができました。ありがとうございました。またご縁がございましたらどうぞよろしくお願いいたします。(烏山翼保育園)
- ・ 3 日間という短い期間でしたが、色々な年齢の子たちと、遊んだり、話したりする機会をくださった、ありがとうございました。今回の経験を活かしてこれからも頑張っていきたいです。(烏山翼保育園)
- ・ 参加が初めてでしたが、あたたかく受け入れてくれてありがとうございました。保育士の大変さをしり、とても興味が出てきました。(烏山翼保育園)
- ・ 烏山翼保育園の皆さん。3 日間お世話になりました。みなさんのあたたかい雰囲気のおかげで安心して活動することができました。私は烏山翼保育園は本当にいい保育園だなと思いました。私もこんな保育園に通いたかったです。先生方も園児のみなさんも本当に優しくて嬉しかったです。ぜひまた機会がありましたらボランティアに参加したいです。改めて、3 日間本当にありがとうございました。(烏山翼保育園)
- ・ 2 日間ありがとうございました。初めてのボランティアだったので、ご迷惑をおかけしたかもしれませんが、また機会があればやらせていただきたいと思います。(烏山翼保育園)
- ・ とても親切にしてくれてありがとうございました。とてもとても楽しかったです。(砧保育園)
- ・ とても楽しかったので、また来年も行きたいです。ありがとうございました。(砧保育園)今回はありがとうございました！二日間だけでも私自身の成長に繋がられたかなと思っています。皆さんのお力にもなれていたら幸いです。改めてほんとうにありがとうございました。職員

の方も園児のみんなもこれから先、体調に気をつけて元気でいて下さい😊また会えるとぜひ嬉しいです。(希望丘保育園)

- ・ 自分の意見をしっかりと提示できていて良かった。(希望丘保育園)
- ・ 今回はありがとうございました。みなさんととても優しく緊張がとてもほぐれて活動しやすかったです。(希望丘保育園)
- ・ ボランティア活動の際に色々助けていただきありがとうございました。今回の活動はとても楽しく、有意義なものになりました。また、機会があればよろしくお願いいたします。(駒沢保育園)
- ・ 3日間お世話になりました。ありがとうございます。(駒沢保育園)
- ・ ご不便をおかけ致しましたが、優しくご指導くださりありがとうございました。(さくらしんまち保育園)
- ・ ぜひまた伺いたいです。ありがとうございました!!(さくらしんまち保育園)
- ・ 3日間とてもお世話になりました。ぜひまた行かせてください。(さくらしんまち保育園)
- ・ まずは2日間ありがとうございました。初めはとても不安だったんですが、さくらしんまち保育園のみなさまの笑顔や優しさ、心強さに救われて、充実した2日間を終えることができました。またここで活動したいなと思いました！ここでボランティアが出来て本当に良かったです。ここで貴重な体験をさせて頂いたことを次に生かせるように心に留めて過ごします。とってもたのしかったです。改めてありがとうございました。(さくらしんまち保育園)
- ・ 先生方、優しく接してくれてありがとうございます！緊張していたんですけど、先生と話して緊張がとけました！園児のみなさん、話しかけてくれてありがとうございます！一緒に遊べてすごい楽しかったです！(さくらしんまち保育園)
- ・ 1日という短い間でしたが、お世話になりました。初めてのボランティアで緊張していたのですが、お昼ご飯や片付け中などに積極的に話しかけてくださる保育士さんが多く、とても嬉しかったです。もともと小さい子と遊ぶのが好きだったので、今回一歳さんのクラスにお邪魔させていただき、すごく良い経験になったなと思います。お昼ご飯がすごく美味しかったです！たくさんご迷惑をおかけした場面もあったかと思いますが、今日一日ありがとうございました。(さくらしんまち保育園)
- ・ 3日間お世話になりました。手際が悪いところもあったと思いますが、優しく教えてくださりありがとうございました。(下馬鳩ぼっぼ保育園)
- ・ お世話になりました。体調に気をつけてください。(下馬鳩ぼっぼ保育園)
- ・ 本日は本当にありがとうございました。(下馬鳩ぼっぼ保育園)
- ・ 今回のボランティア、2日間受け入れてくださりありがとうございました。園児と触れ合ったり、職員の方の仕事を手伝ったりと大変なことも多かったですが、とても楽しかったです！貴重な体験をありがとうございました。(下馬鳩ぼっぼ保育園野の花園)
- ・ 今回夏ボラで私を受け入れてくれた施設の皆様、本当にありがとうございました。今回の貴重な経験はこれから先活かせるし、活かしていきたいと思っています。また機会があればボランティアしたいです。(祖師谷保育園)

- ・ 素敵な機会をありがとうございました。またボランティアとして参加したいです。ありがとうございました。(玉川保育園)
- ・ 受け入れてくださりありがとうございました。良い経験ができました。(玉川保育園)
- ・ ボランティア、ありがとうございました。はじめてボランティアをやったので、すごく不安な気持ちで行きました。でも、入った途端に事務所にいた先生に喋りかけてもらい、すごく話しやすかったです。また、子どもたちの世話をする時、わからないことがあったらすぐ教えてくれたり、仕事がなくなったらすぐに仕事をくれたりして、すごく嬉しかったです。自分の居場所がないかと思っていたけれど、仕事をくれて私にとってはすごく居心地が良かったです。そして、先生方のスピードがすごかったです。作業のスピードや正確さが私の何十倍もあり尊敬していました。足を引っ張っていたかもしれませんが、私にとってはすごく貴重な体験となりました。ボランティアに行き、私は臨機応変に行動する力を養えたと思います。子どもたちの行動、そして保育園での仕事など、予想していなかったことがたくさんあり、大変でした。でも、大変でも変わらないと思い、先生方に教えてもらいながらやっただけで、できました。今後も保育園で学んだ「臨機応変に行動する力」を活かしていきたいです。今回のボランティアが思っていた以上に大変だったけれど楽しかったので、また機会があればやりたいと思います。1日しかやりませんでした、お世話になりました。(玉川保育園)
- ・ 私を迎え入れてくださりありがとうございました。貴重な経験となりました。フレンドリーにはなしかけてくださって嬉しかったです。

2歳児の子供達へ

仲良くしてくれてありがと〜！これからも沢山遊んで好きなこと気になることして大きくなってね！また会える日を楽しみにしています。(玉川保育園)

- ・ 先日はボランティアの私を受け入れてくださってありがとうございました。子供達を守る安全管理はとても心に響きました。最初は私を見て固まっていた子も最後は仲良くなれて最後まで一緒に遊ぶことが出来ました。是非また機会があればボランティアをさせていただきたいです。今回は本当にありがとうございました。(中町保育園)
- ・ 足を引っ張ってしまった時や、迷惑をかけてしまった時でも、すごく優しく教えてくださって、本当にありがとうございました。みなさんのおかげで、ボランティアの大切さをたくさん感じる事ができました。ぜひまたよろしくお願いします。(鳩ぽっぽ保育園)
- ・ 子供たちを見るだけでも大変だと思いますが、受け入れてくれてありがとうございます。(鳩ぽっぽ保育園)
- ・ 短い時間でしたが、温かい雰囲気の中で優しくいろいろなことを教えてくださりありがとうございました！(鳩ぽっぽ保育園)
- ・ 1日だけでしたがお世話になりました。また機会があればよろしくお願いします。(鳩ぽっぽ保育園)
- ・ 3日という短い期間でしたが、とても良い、貴重な経験ができて良かったです！ありがとうございました。(鳩ぽっぽ保育園)
- ・ 3日間お世話になりました。子ども達と一緒に遊んだり、話したりするのはとても楽しくて

有意義なものになりました。機会があれば、またよろしくお願いします。ありがとうございました。(鳩ぽっぽ保育園)

- ・ 二日間ありがとうございました。短い時間でしたが初めてのことで迷惑をかけてしまったこともあるかと思いますが、たくさんのことを学ばさせていただきました！本当にありがとうございます！みんなとも仲良く遊んだり、お話ししたりできてとても楽しい時間でした！ありがとうございました！！(鳩ぽっぽ保育園)
- ・ とても楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。(鳩ぽっぽ保育園)
- ・ フロンティアキッズ上町の皆さん。1 日という短い時間でしたが、お世話になりました。はじめてのボランティアですごく不安だったのですが、みなさんのサポートのおかげで楽しく活動することができました。また機会がありましたら、ボランティアに参加したいです。本当にありがとうございました。(フロンティアキッズ上町)
- ・ 短い間でしたが手伝うことが出来てとても嬉しかったです。子どもたちと触れ合う楽しさをさらに知ることができてとても嬉しかったです。(ぴっころ保育園)
- ・ 今回はありがとうございました。子供達がとても積極的に遊びに誘ってくれて楽しかったです。(船橋東保育園)
- ・ 保育園で活動できてとても嬉しかったです。(わかくさ保育園)
- ・ 1 日 本当にお世話になりました。貴重な体験をありがとうございました！(遊愛保育園)
- ・ 初めてで緊張していましたが、先生方が優しく説明してくださったおかげで、3 日間とても楽しく実りのあるものになりました。来年も遊愛保育園で夏ボラに参加したいです。(遊愛保育園)
- ・ 自分が元々いた保育園のようすが見れたのは嬉しかったですし、子ども達のことなど沢山学べて良かったです。ありがとうございました。(遊愛保育園)
- ・ 最終日は体調不良で行けず、どうもすみませんでした。三日間どうもありがとうございました。(遊愛保育園)
- ・ 皆さんが優しくかったので全然苦じゃありませんでした！短い期間でしたがありがとうございました！(遊愛保育園)
- ・ お忙しい中ボランティアを受け入れてくださりありがとうございました。園児さんたちとたくさん遊べて楽しかったです。人生で始めて「せんせい」と呼んでもらえて嬉しかったです。お昼寝の時間はずっと寝かしつけているわけではなくおもちゃの消毒や部屋の掃除をしていることを知れました。また、学校のレポート関係の質問にも快く答えて下さりありがとうございました。またボランティアをしてみたいです。(用賀保育園)
- ・ この 4 日間、お世話になりました。保育士のお仕事も間近で見ることができて、とても有意義な時間になりました。(守山保育園)
- ・ 3 日間お世話になりました。ここで学んだことを日々の日常でも活かしていきたいと思います。(守山保育園)
- ・ 受け入れていただきありがとうございました。楽しかったです。(南桜丘保育園)

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ とてもとても楽しかったです！たくさんの赤ちゃんやお母さんとお話できて良かったです！また参加させていただきたいです。(Ohana Kids)
- ・ 本当に楽しい体験をありがとうございました、自分自身少し忙しかったり極度のめんどくさがり屋でまた行く機会は減ってしまうかもしれませんが、行けたらまた行きたいので、3人でまた遊びに行かせてください！(烏山プレーパーク)
- ・ 本当に楽しかったです！その都度遊びに行きたいと思っているので今後ともよろしくお願いします！(烏山プレーパーク)
- ・ 今回ナツボラという機会に川遊びのボランティアをさせていただきました。とても楽しかったです。ありがとうございました。(砦・多摩川あそび村)
- ・ 1日だけでしたが子どもたちと遊んだり、話したりすることができてとても楽しかったです。ありがとうございました。(駒沢はらっぱプレーパーク)
- ・ 手伝いをたのんでくれたり、話しかけてくれてありがとうございました。(世田谷プレーパーク)
- ・ 1日ありがとうございました！とても楽しかったです！(デイサービスあじさい)
- ・ プレワーカーの大切さと大変さがよくわかりました。ありがとうございました。(羽根木プレーパーク)
- ・ この度は貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。この活動を通して一人ひとりが真剣に取り組む姿を知ることができ自分自身の考え方も変わりました。今回の活動を今後活かせるようにしたいと思います。本当にありがとうございました。(プレイ&リズム希望ヶ丘)
- ・ 2日間ありがとうございました。子ども達と関わることで、職員の皆さんの子ども達への想いが伝わってきました。気軽に遊び、人と会える場所としての施設が存在することは、子ども達にとっても幸せな居場所で、職員の皆さんにとっても、子ども達の成長を感じられる場所になっていて、保護者の方々のホッとできる場所にもなっているのだと感じました。このような素敵な施設に関わることができてとても嬉しかったです。改めまして、ありがとうございました。(プレイ&リズム希望ヶ丘)
- ・ 2日間ありがとうございました！楽しかったです！(プレイ&リズム希望ヶ丘)

その他

- ・ ガイダンスや活動中に一から教えてくれて楽しく外国人と会話をすることができました。ありがとうございました！(JCA 千歳船橋)
- ・ 活動前に丁寧にメールをいただきありがとうございました。講師の先生からもあたたかい講評をいただきありがとうございました。(JCA 千歳船橋)
- ・ 初めてのボランティア活動で緊張しましたが、とても楽しかったです。ありがとうございました。(てあみときっての会)
- ・ とっても楽しかったです。二日間ありがとうございました。(JCA 千歳船橋)

- ・ ありがとうございます。(てあみときっての会)
- ・ 落書きに関心を持つことができました。ありがとうございます。(しぶやボランティアセンター)
- ・ 消すのは大変だったけど、楽しかったです！ありがとうございます！(しぶやボランティアセンター)
- ・ 日本の文化だけでなく、海外の文化にも触れることができ、とても勉強になりました。とても面白かったです。(JCA 千歳船橋)

6. 受入団体への事後アンケートから

(回答団体数 49 団体)

★振り返りの項目

(1) ナツボラ参加者について

- ・参加者の様子（選択式）
- ・参加者について気が付いた点
- ・受け入れを通して『よかった』『印象に残った』と感じたこと
- ・関わり方や対応で困ったこと
- ・事故やケガ、ヒヤリとした場面

(2) ナツボラ全体について

- ・遅刻や欠席の連絡、あるいは感染症対策等の対応で困ったケースなどありましたか
- ・ナツボラ全体へのご意見・ご感想

(1) ナツボラ参加者について

◆ナツボラ参加者の様子（回答数 219名）

積極的によくやってくれた	138名	まあまあよかった	70名
あまりやる気がみられなかった	8名	全くやる気がみられなかった	3名

◆受け入れを通して『よかった』『印象に残った』と感じたこと。

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・明るく、その場の雰囲気をよく見て動いて下さいました。
- ・今回は、喫茶店での活動をしてもらいましたが、多世代交流につながり利用者さんも気分転換になる機械でした。また、自分から注文を聞きに行き注文を提供するので自然と話す機会が増えてコミュニケーションをとってくれていました。
- ・スタッフの指示に従い、的確に動いていた。
- ・ボランティアの方が初めての経験だったと喜んでもらえた。
- ・ご利用者が孫が来たようにとても喜んでくれたこと、接し方が上手な子はお利用者との会話が弾んでいる様子も見られた。

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・若い方が来てくれることで施設に活気が出ます。また、関りを通じて利用者は新鮮さや刺激を感じてくれていたかと思います。
- ・普段スタッフが忙しいと、なかなかゆっくり話を聞く時間が取れない利用者と話をしてくれていて、良かった。
- ・利用者と積極的に会話をしてくれた。
- ・活動に参加していただくことで、利用者の方も普段と違うかかわりから得られる経験を積む

ことができたのではないかと思います。

- ・ ボランティアの方が来てくださることで、通所されている利用者の皆さんにとって良い刺激になっていたと思います。普段、中高生と接する機会は（職員もそうですが）あまりないので、色々な世代の人と接するという意味でも貴重な機会となりました。
- ・ 日頃から同じ面々の中で時間が流れている中、新しい方々との出会いは、利用者の皆様にとっても、新鮮な経験であった。
- ・ すごくしっかりした中学生の方が来て下さり良かったです。
- ・ 地域にこのような施設があること、障害を持った方にも色々な方がいることを知ってもらう機会になったことが良かった。受験生で1日の殆どの時間を勉強しているという学生さんがそんな中でもボランティアにきてくれたことが印象的であった。
- ・ 夏休みの期間に興味を持って参加していただき、利用者さんと関わる事が出来て良かった。
- ・ 知的障害のある人が、お客様へのサービス提供者として働く姿を見たことで、「障害者のイメージが変わった」という感想をいただいたことが、印象に残りました。しっかり働いている実習者を見て、「障害者＝助けてあげなければいけない人」というだけでなく、一人一人に応じたさまざまなアプローチの仕方があることを学んでいただけた気がします。
- ・ 普段関わることの無い年代の方々と触れ合うことができ、利用者様にとって有意義な時間となりました。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 保育士を目指したいという学生の希望に近づける取組。
- ・ 中学生・高校生の生徒さんが来てくれることで、子ども達もいろいろな人に触れあえる機会が持てた。また保育園という場所や小さい子と関わる事に関心を持ってもらえたことが良かった。
- ・ 在園児の子どもたちが喜んで一緒に過ごす姿がみられ良かったと感じています。
- ・ 比較的園児と年齢が近い学生さんでしたので、年上のお兄さん、お姉さんとの触れ合いの経験になったこと、保育士とは味わえない楽しさがあり良かった。
- ・ 異年齢の方（中学生）との関わりを持てたことは、同年代の子と遊ぶ以外のことが子ども達に何か知ら伝わったと思います。子ども達がとても喜んでいました。
- ・ 子どもたちは身体を動かして思いっきり遊んでもらえて、とても喜んでいました。工作が得意という方には、厚紙でおもちゃ（スマホ）を作ってもらいました。
- ・ 園児と一緒に遊んでもらいとても喜んでいた。
- ・ 子どもたちと自然に遊び関わってくれた。
- ・ 子どもたちと積極的に関わってくれ、帰る際の感想が「楽しかった！」と伝えてくれた。
- ・ とても積極的でよかった。
- ・ 保育の仕事に興味を持ち、子どもたちとたくさん関わってくれました。また、保育士の仕事を実際に見て体験したことで「保育士」という職業への興味や理解が深まったようで嬉しく思います。

- ・ 子どもたちにとって年齢が近いお兄さん、お姉さんと過ごすことで、大きくなることへの具体的なイメージが持つことが出来た。保育士も将来「保育士」という職業に興味・関心を持ってもらえるように保育の意図を話すいい機会になりました。
- ・ 子どもと実際に関わる中で「かわいい」と言いながら喜んでいる姿が印象的だった。
- ・ 良かったこととしては、保育士・保育園を知ってもらえたことは良かったです。福祉という仕事を知ってもらう機会があって良かったです。
- ・ 印象に残ったこととしては、子どもたちから求められることに喜びを感じる学生さんが多く、何かやってあげよう、あげたいという思いが伝わってきました。
- ・ 1日だけではなく数日間続けて参加して下さったこともあり、子どもたちともお互いに名前を覚え合えたことで、関わり方がより深くなり参加者の方も参加者なりに手ごたえを感じる事が出来たようでこちらも嬉しく思いました。
- ・ 保育園の仕事は保育だけではなく掃除や準備、片付けなど様々な仕事があることを知るきっかけにもなり体験された方にとって、保育園職業体験だけでなく子ども理解への一歩だったように感じました。
- ・ 積極的に取り組んでいた
- ・ 子ども達と積極的に関わりを持ってくれました。常に笑顔で接してくれました。
- ・ 子どもたちの要望に応えようと一生懸命で、子どもを理解しようとしていた。
- ・ 子どもたちと関わって楽しそうに遊んでいました。
- ・ 子どもの午睡中の作業(遊具拭きや制作準備など)も丁寧に行っていました。
- ・ 昨年度も参加してくれた学生さんが来てくれたことで、受け入れ態勢にも満足してくれたのかなど、自分たちの良い振り返りにもなった。
- ・ 子どもたちとも一緒に楽しんでくれていたり、園内の作業なども積極的に聞いてくるなどあったので良かったです。また、園児たちもボランティアの方が来ることをすごく楽しみにしていました。
- ・ 子どもたちと楽しそうに関わっていて「かわいい」という感想をもらえて、保育の楽しさを感じてもらえたので良かったです。
- ・ ナツボラを受け入れることで職員も気が引き締まるとともに、保育を楽しむことを意識できとても良い機会になっている。
- ・ 学校の課題という学生もいたが、少しでも福祉の仕事に興味を持ってくれていることが良かった。
- ・ 今年度も卒園児が来てくれ大変嬉しかったです。また、保育園がどのような施設なのか見てみたいという学生さん（福祉関係の大学）にも保育園の施設や仕事内容などを知っていただける良い機会になりました。また、本園からの紹介で医療ケアの必要な高校生ボランティアの方との出会いは子どもにとってとても良い経験となり、私たちもいろいろなことを学ばせていただいた時間となりました。
- ・ 個々によってであるが、子どもたちの刺激にならずにずっと遊びに入ってくれた子もいた。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ ボランティアの意義や子育て支援の場であることを認識して参加してくれました。学校からの課題で参加しているのではなく、自主的にボランティアに参加したり、この施設を選んでくれたのがうれしかったです。
- ・ プレーパークを知らない参加者が9割だった。どのような場所なのか話と体験で知ってもらったうえで来園者と様々な関わりをしてもらえた。
- ・ 小さな子どもたちと、中学生が交流した姿。
- ・ 地域住民と交流し、話をできた。
- ・ 年齢が近いこともあり、スタッフが対応した時と違う姿が見られたこと。
- ・ イベント行事の手伝いを積極的にやってくれたのと笑顔だった事。
- ・ 積極的に交流を持とうとしてくれたこと。
- ・ 連絡のやり取りを自分でやろうとしていた事
- ・ 事前に下見に来て迷わないように準備してくれたこと。
- ・ ボランティア活動を通して、こちらの運営理念に理解を示してくれました。また、ナツボラ期間終了後の別日に開催したイベント（屋外上映会）にも参加者としての参加のみならず、映画上映前座として地域のお母さんや子どもたちとイベントを盛り上げてくれ、ボランティア期間以外でも来てくれたこと・地域と繋がっていたことがすごく嬉しかったです。
- ・ 期間中、3人ともそれぞれが楽しく子どもと遊んでいたので子どもにとってもとても良い刺激になったと思います。
- ・ 普段は出会うチャンスがほとんどない、「高校生」に参加して貰えてよかった。
- ・ その彼が、障害メンバーへのリアクションがとても率直・新鮮でとても微笑ましく、彼にとっても新鮮・有意義だったのでは？と感ずることができました。

その他

- ・ 参加理由を聞くと、学校の課題で参加しているという学生が大半だった。
- ・ 質問に対しての答え方が皆さんの確で頭の良い中学生!という印象です。
- ・ 参加者4名全員が時間に余裕を持って集合し、積極的かつ楽しそうに活動していた。
- ・ 4名のうち3名は、すでにJCA千歳船橋の他クラスでナツボラを体験しており、水曜クラスが2日目の参加だった。
- ・ 英語でのコミュニケーションが得意な参加者もあり、外国人学習者との交流を積極的に楽しんでた。
- ・ 体験終了後には全員がパスポートに感想を記入し、最後の感想発表でも「参加して良かった」と話してくれた。
- ・ 外国人学習者からも「普段接する機会の少ない日本の中学生と交流できて楽しかった」との感想があった。今回参加できなかった学習者からも、次回は参加したいとの声があった。
- ・ 受入会員にとっても、普段のマンツーマンレッスンに中学生が加わることで、いつもとは違った交流の機会になった。

- ・ 世田谷ボランティアセンターと協働できたことがよかった。

◆その他、参加者について気が付いたこと

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・ 音楽会の参加をして下さったボランティアの方は古い歌も一緒に歌って下さり、とても感心した。

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ 若い力は素晴らしいと思いました。本当にいるだけで活気が出ます。
- ・ 意識して利用者に関わろうとしていた。
- ・ 2名どちらの方も、緊張しているであろう中、積極的に挨拶をしたり、こちらの提供する活動を手伝って下さったので、とても好印象でした。
- ・ こちらの説明もしっかり聞いてくれて安心しました。
- ・ とくになし。ボランティアを機会にまた学生さんの視野が広がるといいなと思っています。
- ・ 明るく関わっている場面が見られて、利用者さんも楽しかったと思います。
- ・ 疾患等難しい利用者様がいる中、一生懸命取り組んでくれました。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 日常とは異なる環境でも冷静に行動し感想も前向きなものでした。
- ・ 皆さん素直で良い生徒さんで、前向きに取り組んでいただきました。
- ・ 皆さんいらした時は緊張感で表情も固い様子でしたが、一日過ごして子どもたちと触れ合い帰られる頃には「楽しかったです」と柔らかい表情が印象的でした。
- ・ おとなしいけれど、しっかりしていました。
- ・ 子どもと遊ぶことを楽しみに参加されているのかと思っていたら、「見てるだけでいいです」と消極的な方がいました。「学校の課題をしたいので、保育を抜けていいですか」という方もいました。
- ・ 皆さん意欲的に参加されていた。学校の課題であったかもしれないが「小さい子と遊びたかった」と保育園を選んで来てくれたようで、表情も良かったです。
- ・ みなさん、事前にナツボラさんから説明を受けているので、こちらも話がしやすかったです。ありがとうございます。
- ・ 子ども達と関わることを喜んで参加してくれたので、ありがたかった。
- ・ 2日申込されて1日しか来ないという方が増えているように感じます。
- ・ 体調不良などであれば仕方ないと思いますが、しっかりと対応できるように体制をとっているので、申し込みの日数は来ていただけるとありがたいなと思います。
- ・ 年を超えてリピートで来てくださる方もおり、とてもありがたく感じています。保育という仕事に興味を持ってもらうきっかけにもつながると思いますので、これからもたくさんの方に来て頂ければと思います。

- ・途中で体調を崩して帰った方がいました。朝から体調が悪かったようなので暑さもあり無理せず参加していただきたいです。
- ・参加直前にファーストピアスを開けたとのことで、原則ボランティアさんや実習生には装飾品は取ってもらうように話していますが「取れない」ということでした。仕方なくピアスの上から絆創膏を貼ることで凌ぎましたが…。今後も受け入れをする際は当日のオリエンテーションになる予定なので、ナツボラさんの方で『装飾品不可』の施設があることを注意事項の中に入れておいてもらえると良いかな？と感じました。
- ・性暴力についての動画を見てもらって参加してもらうのが良いのかもしれない。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・団体情報をそのまま配布してくださっているけれど、持ち物の不備はあった。来年は事前ガイダンスを必須にして補いたいと思います。
- ・学校から配られたボランティア受入証明書への記入は把握していたが、ナツボラのパスポートにサインが必要であることを認識していなかった。来年は事前ガイダンスでも補いたいと思います。

その他

- ・皆さん時間前にいらして頂き、「やる気」を感じました。
- ・参加者1名がパスポートを持参していなかったが、他クラスから事前に情報共有があったため、ボランティアセンター担当者と連携して再発行していただき、体験終了前に本人へ渡すことができた。
- ・世田谷からの参加者のみなさんは集合も早く、とても「やる気」がみられました。

◆事故やケガ、ヒヤリとした場面

高齢者とともに楽しく過ごす

- ・無事に期間を終えることができました。

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・参加途中で体調を崩してしまった。
- ・立ち通しの仕事に慣れていないため、足の痛みを訴えられた方については、適宜休憩していただきました。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・元気に走り回って遊んでくださる際、どこまで周りの子が視界に入っているかがヒヤリとすることはありましたが、担任が声かけしながらケガなく過ごすことができました。
- ・子どもの噛みつき止めることができなかった。
- ・子どもの年齢に応じた動きがわからず、衝突しそうな場面があった。

(2) ナツボラ全体について

◆関わり方や対応で困ったことはありましたか？

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ 高齢者との会話に行き詰ってしまうときの対応。
- ・ ご利用者のために TV を付けているがずっとテレビを見ていて、職員が食器洗いを一緒にとお願いするがボランティアだからできないと言われたためナツボラで来て下さった人には色々とお手伝いをしてもらってはいけないものと勘違いされて次に来た方にも何もお手伝いを頼むことができなくなってしまったことがあった。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 緊張やはじめての場所に対する戸惑いを感じられ、こちらの話すことがどのくらい理解できたのかわかりづらい時はありましたが、なるべく丁寧に伝えるよう心がけました。
- ・ 戸惑いもあったかと思いますが、体操等一緒にやろうと誘っても見ているだけだったり、学校の課題をやっていて、休憩時間が過ぎてしまっても戻ってこなかったりすることがありました。言葉遣いや働くということ等どの辺まで伝えていくのか、職員の方が戸惑いました。
- ・ 特定の関わりやすい子どもとの関わりに偏りがちになったこと。
- ・ 具体的にはありませんが、手持ち無沙汰になった瞬間やどうしたら良いか困った瞬間などはなかったか、参加された方からの率直な印象を伺えればと思いました。
- ・ オリエンテーションが当日だったため、爪を長く伸ばしたりマニキュアや飾りを付けていると危険や怪我に繋がることを事前に伝えられなかった
- ・ 子どもと関わり方がわからない様子の子がいた。
- ・ 配属クラスを伝えた際に不満を訴えた学生さんがいたので驚きました。昨年も来てくれた方で、特定の園児と関わりたかったようでした。
- ・ 男子の子が乳児のオムツ介助の近くにいたこと。今、性暴力に関してとても敏感なので、私たち職員との温度差の難しさを感じた。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ ボランティアに参加する学生の性格もそれぞれなので、施設を利用する方の対応（保護者との会話や子どもと遊ぶ）で何をどこまでしてもらったらよいかを、適宜判断してお任せしました。
- ・ 参加者は「『こんにちは』って挨拶したらボランティア受入開始だとわかってくれた」と保護者に語ったようだが、事実としては参加者から名乗りがなく、ナツボラをしてない仲間 4 名を含め計 5 名で来園されたことで、こちらも参加者が来たことを把握できなかった。
- ・ 活動時間中にスマートフォンを操作する参加者がいました。
- ・ やる気がマチマチ
- ・ 友達同士での申し込みだったのですが、1 名がキャンセルとなりました。

- ・ 本人からの連絡も参加予定時間の1時間後という連絡で、内容も正直言い訳が最優先だったのがとても残念でした。

その他

- ・ 最後に小冊子に印鑑押印がありましたが、事前に認知しておらず手書きのサインになってしまいました。

◆遅刻や欠席の連絡、あるいは感染症対策等の対応で困ったケースなどありましたか？

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ 昼食の有無に関する部分で、参加当日に、参加申込書に記載されている内容と食い違いがあった。団体情報シートの内容を見て、初日は給食を希望しないのでお弁当を持参した、とのことだった。
- ・ ガイダンスの日程を失念していたとの連絡があり、翌日に変更して行いました。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 1名体調不良で1日お休みしましたが、連絡いただいたので特に問題ありませんでした。
- ・ 台風の時期でしたので保育園が閉まっているかどうかを問い合わせさせていただいたケースが1件ありました。
- ・ 体調不良でお休みされた方はいましたが、きちんとご連絡も頂きました。
- ・ 初日の遅刻があり、連絡もなかったので困った。
- ・ 当日になって予定の時間より遅くなる連絡が入り午後から来てくれました。「塾があったことを忘れていた」とのことでしたので、どこまで受け入れるべきか迷いました。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 「参加申込書に記載された『活動時間』＝当日参加者が来る時間」だと把握していない参加者が9割だった。原因として、団体情報に「いつでも来ていい」といった旨の記載があったため誤解が生まれ、「活動時間」とは違う時間に来て数時間で帰る参加者が多かった。「活動時間」外に来て事前の電話連絡はなく、「だっていつ来てもいいって書いてたから」とのこと。誤解を生んでしまって申し訳ございません。来年度以降はその旨の記載はいたしません。
- ・ 遅刻・欠席があった場合、世田谷ボランティアさんにどのタイミングで報告すべきだったでしょうか？今回、こちらもしっかり忘れていて報告忘れてしまい、申し訳ありませんでした。

その他

- ・ 猛暑日だったが、参加者は飲み物を持参していなかったため、今後は事前案内で飲み物の持参を呼びかけると良いと思う。
- ・ 受入側の外国人学習者1名が遅刻したため、開始が予定より約5分遅れた。ただし、担当会員に事前連絡があったため、参加者にも事情を説明でき、大きな混乱はなかった。

◆その他、ナツボラ全体へのご意見・ご感想

障害のある人と一緒に楽しむ

- ・ 若い方や地域の方に施設を知ってもらう機会は限られ、このような体験がお互いにとって今後も有益な経験の場となり、繋がりが広がっていくことを願っています。今後も継続していただけるよう施設側としても協力していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 障害者と関わり、知ってもらえる良い機会だと思います。
- ・ ご多忙中、様々なサポートをしていただき、ありがとうございました。今後とも、当事業所としては積極的にボランティアの皆様の活動の場を提供出来ればと考えております。今後ともどうぞ、よろしくお願いします。
- ・ 自主的にボランティアをされるだけあって、毎年とても良い方が来て下さっています。ありがとうございました。
- ・ たくさんの希望があっていらしていただき嬉しかったです。また来年も学生さんにご縁があったらいいなと思います。
- ・ 昼食の有無に関する部分は、お金が発生する場合は多い事が考えられるので、参加者さんへの周知方法を改めてもいいかもしれません。
- ・ 期日を過ぎてからのボランティア希望が2件ありました。1件はボラ協様からデータをいただきましたが、もう1件はご本人から直接のお電話で、ボラ協様の了解は得ているとのことでしたので、お受けしました。期日後の申し込みへの対応を統一していただけると有難いです。

保育園の子どもたちに楽しいひとときを

- ・ 学生のボランティア活動を夏季の課題とする学校が増えている。選択肢として保育園があり興味を持ち参加したことが経験の広がりや今後の学びに役立てばと思う。
- ・ こういう機会から保育園や保育士の仕事に興味・関心を持ってもらえるとありがたいのでとてもいい機会だと思う。また来年も希望があれば受け入れたい
- ・ 地域の様々な世代の方と触れ合ったり、つながったり、保育園を知っていただく良い機会なので、今後ともよろしくお願いいたします。
- ・ 幼児には、大きいお姉さん、お兄さんはあこがれの的でもあります。一年に一回でもそのような機会が保育園の中で経験できることは有意義なことだと思います。
- ・ 中学生なので、楽しい思い出を作ってもらいたいと対応しましたが、社会人としてのルール等どの程度まで伝えていくのか良いのか、対応を考えることもありました。ボランティアなので細かい指導はしませんでした。言葉遣いや挨拶、保育の入り方等、職員の方が対応に戸惑うことが多く、今の若者への理解が不足していると感じました。来年度は、オリエンテーションにもっと時間をかけ、やってみたいことや得意なこと等聞くようにしたいと思います。
- ・ 今後も受け入れをしていきたいと感じました。

- ・ 2 回目の説明会後にたくさんの参加者が追加されたため、すでに受け入れの体制をとっていたところに再度検討することになったためやや大変だった。
- ・ また、夏ボラの冊子を持参している方と持参していない方がいて、押印を求められたのですが帰宅時間になっていたため記載の時間をもつことができず、内容なしの状態を押印していました。記載して押印が必要でしたら、記載の時間を時間内で設けていけるようにしたいと思っています。
- ・ 今後も積極的に受け入れたいと思います。
- ・ たくさんの学生さんに保育士の仕事を知ってもらいたいため、今後ともよろしくお願いいたします。
- ・ 今後よろしくお願いします！
- ・ 子どもがいろいろな人と関われる貴重な機会になっているため、今後も継続してお願いしたい。
- ・ 中学生・高校生に保育という仕事を知ってもらえる良い機会だと思いましたし、今後も受け入れていきたいと思っています。在園児の子どもたちにとってもたくさんの方たちと関わることでよかったです。
- ・ 質問として、2026 年 12 月 25 日より、こども性暴力防止法が施行されます。ナツボラとしてはどのような対応をされるのか、園側としてどんなことが必要なのか考えていけないなと思っています。→(ボランティア協会)協会としても対応を検討中です。次回のナツボラの際にご説明できるようにしたいと思います。
- ・ 夏だけではなく、短いですが冬の休みの期間についても実施出来ると、ボランティアの方と子どもたちの関わりが深められ、より参加者の方に手ごたえも感じてもらえるのではとも思いました。
- ・ 来年度もよろしくお願いいたします。
- ・ 毎年様々な方との出会いに感謝しています。今年は 2 年目に 1 歳児で在園していた方が中学生になり参加してくれたり、そのご兄弟が別日で参加してくれたり地域とのつながりをより強く感じた年でした。地域に根付いてきたことを実感することも嬉しい限りです。また来年度も楽しみにしています。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・ 園の近くの同じ地域の中学生に保育園の存在を知ってもらい、興味をもってもらえるきっかけとなりました。ありがとうございました。
- ・ 今回中学生にも来てもらったが、どこまでの仕事をお願いしていいのか、職員の方で迷いがあった。
- ・ 保育園の子どもたちも年齢の近いお姉さんたちと接する機会を楽しみにして、遊んでもらえる喜びを感じていましたので、今後も継続できるといいと思います。
- ・ 今年度も大変お世話になりました。引き続き来年度もよろしくお願いいたします！
- ・ 私立の中学生さんは夏休みの宿題で出せれているようなので今年の募集は例年より多かったような気がします。

子どもたちに楽しいひとときを

- ・ ボランティア参加者と最初に連絡を取る際に、電話は通じないことが多いため、最初に連絡手段（電話かメール、どちらから連絡を取るかなど）を決めておくと思えました。
- ・ 意見というか宣言になりますが、来年度は団体情報を改善して、事前ガイダンスも設けて、参加者の齟齬が生まれにくいようにします。お手数をおかけしまして申し訳ございません。

その他

- ・ 若い人のボランティア参加の姿勢を拝見し、社会に貢献する意義、意識を改めて感じました。
- ・ 当日は同じ時間帯に、ボランティアセンター内で別団体のナツボラも実施されていた。案内掲示や会員による誘導は行ったが、参加者が迷わないよう、団体名・会場をより分かりやすく表示できると良いと思う。
- ・ 事前にボランティアセンター担当者と情報共有する時間を持てたことで、パスポートの再発行を含め、当日の対応をスムーズに行うことができた。

7. ナツボラ・ジュニア 実施概要

- ▽体験期間 2026年7月18日(土)～8月31日(月)
- ▽対 象 区内在住・在学の小学生とその保護者
- ▽申込受付 7月4日(土) 10:30～
世田谷ボランティアセンター・北沢・玉川・砧・烏山ボランティアビューローにて
- ▽参加費 500円(別途ボランティア保険代350円)
- ▼参加実績
- 参加人数 147名
- 参加延べ件数 160件
- プログラム数 24団体(ボランティアセンター3、北沢7、玉川6、砧4、烏山4)

小学生 夏休みボランティア体験 2026 ナツボラ・ジュニア ささえあいは生きるちから



- 参加できる人 : 世田谷区に在住・在学の小学生
- 体験期間 : 7月18日(土)～8月31日(月)
- 参加費 : 1人500円(申込時に現金でお支払いください)
- 申込日 : 7月4日(土) 10:30から随時
※一部のプログラムはWEBにて事前申込後、
抽選となります(WEB申込受付期間: 6/20(土)10:00～7/2(木)17:00※切)
- 申込場所&時間 : 世田谷ボランティアセンター 火曜～土曜 10:00～17:00
各ボランティアビューロー 月曜～土曜 10:00～17:00
※各プログラム(WEB受付以外)は、上記いずれの場所でも
お申し込みできます。
- 注意事項 : プログラム参加は1人につき1つ。2つ目以降は、お問い合わせください。
自己都合によるキャンセルの場合、返金いたしません。
感染症や天候により、プログラムを中止・変更する場合があります。
- お問い合わせ : 各ボランティアビューローまたはボランティアセンターへ(裏面参照)

ナツボラ・ジュニアでは、夏休み中に、小学生にボランティアとの出会い・体験の場を提供しています。
体験を通じて、おたがいさまの心や生きる力が育まれることを目指しています。
ぜひご参加ください♪

主催: 社会福祉法人世田谷ボランティア協会 後援: 世田谷区・世田谷区教育委員会

夏のボランティア体験学習プログラム活動報告

『ナツボラ 2026 の記録』

2026 年 10 月発行

編集・発行 社会福祉法人世田谷ボランティア協会

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 2-20-14

TEL 03-5712-5101

FAX 03-3410-3811

E-mail natsu-bora_2026@otagaisama.or.jp

URL <https://www.otagaisama.or.jp/>

ご協力いただいた団体、施設のみなさまに感謝いたします。